消　防　年　報

令和６年版



熊　谷　市　消　防　本　部

令和７年刊行

表紙の写真
熊谷市シティプロモーション
ロゴマーク［イラスト］



熊谷市シティプロモーションの取組は、まちのファンを増やす目的で行われる「魅力づくり」や「魅力発信」などの活動を指します。この活動をさらに市民の皆様や企業・団体の皆様と一緒に取り組んでいくために、そのシンボルとなるロゴマークをつくりました。またロゴマークと共に発信する「進め、明日のその先へ」というシティプロモーションのキャッチコピーには、シティプロモーション活動を行う皆様と共にまちの未来をつくりたいという思いが込められています。

消　防　年　報	
発　行	令和７年６月刊行
編　集	熊谷市消防本部
	〒３６０－０８１１
	埼玉県熊谷市原島６７５番地１
電話番号	（０４８）５０１－０１１９
ＦＡＸ番号	（０４８）５２１－１２０７
熊谷市ＨＰ ＵＲＬ	https://www.city.kumagaya.lg.jp/

はじめに

この消防年報は、令和６年中の消防業務及び令和７年４月１日現在の消防現勢について収録し、今後の消防行政の運営に資するとともに、当消防本部の消防現況を広く御理解いただくために編集したものです。

令和７年６月

熊谷市消防本部

熊　　谷　　市

市　　章



熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右側が「ク」を、上部左側が「マ」を、全体で「谷」を表しています。
大正８年に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同１１年７月から使用されたものです。
昭和８年４月１日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成１７年１０月１日の合併による新熊谷市においても引き継がれました。

シンボルマーク



熊谷市（「くま」の２文字）が限りない未来に向かって大きく飛躍している様子をデザイン化しています。

市の花	：	サクラ
市の木	：	ケヤキ
市の鳥	：	ヒバリ
市の魚	：	ムサシトミヨ

目　　次

一目でわかる消防 1
熊谷市消防本部の沿革 2

◎ 組織・予算

歴代消防長 １６
消防組織表 １７
消防配置図 １８
消防通信系統図 １９
消防本部事務分掌 ２０
消防署、分署事務分掌 ２２
現有人員・消防職員年齢状況 ２３
消防職員勤続年数状況・常備消防管内情勢 ２４
消防職員研修状況 ２５
消防吏員特殊技能その他資格取得者数 ２６
消防費予算 ２８
消防音楽隊 ２９

◎ 消防施設・機械

消防本部、消防署、分署庁舎一覧表 ３０
消防ポンプ自動車等性能一覧表 ３１
主な救助用資器材の保有状況 ３５
通信施設 ３７
１１９番通報受信件数 ３８

◎ 消防水利

消防水利状況 ３９
署別消防水利状況 ４２

◎ 火災予防

防火対象物数 ４３
消防同意件数 ４４
危険物の類別製造所等施設数 ４５

危険物の指定数量倍数別製造所等施設数 ---------- ４６
防火対象物別消防訓練実施状況 ---------- ４７

◎ 火災

火災の発生状況 ---------- ４８
月別火災発生状況 ---------- ４９
署別火災発生状況 ---------- ５０
月別、分団別火災発生件数 ---------- ５１
月別、時刻別火災発生件数 ---------- ５２
損害額及び焼損面積区分による火災発生件数 ---------- ５３
出火原因別火災発生件数 ---------- ５４
曜日別火災発生件数・時刻別火災発生件数 ---------- ５５
火災発生覚知別件数・主なる火災・死者を伴った火災 ---------- ５６

◎ 救急・救助

事故種別出動状況 ---------- ５７
事故種別署別出動状況 ---------- ５８
事故種別時刻別搬送人員 ---------- ５９
事故種別傷病程度別搬送人員 ---------- ６０
救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況 ---------- ６１
事故種別出動件数・程度別搬送人員 ---------- ６２
一日平均救急出動件数の年別比較・年齢別搬送人員・救急隊員の
行った応急処置件数 ---------- ６３
救急事故覚知別状況・医療資器材の使用件数 ---------- ６４
救助出動状況 ---------- ６５
月別救助出動件数 ---------- ６６
事故種別発生場所別活動件数・事故種別出動車両等台数 ---------- ６７

◎ 消防団

消防団組織表 ---------- ６８
消防団車庫一覧表 ---------- ６９
消防ポンプ自動車等性能一覧表 ---------- ７１
勤続年数状況・年齢状況 ---------- ７３

一目でわかる消防

管轄面積
P17



159.82k㎡

人口（R7.4.1）
P17



190,341

世帯（R7.4.1）
P17



90,785世帯

消防費予算額
P28



2,874,637千円

令和7年度当初予算

消防署所
P17



消防本部	1
消防署	3
分　署	3

消防職員
P23



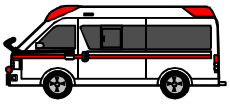
定数	275人
実数	253人

消防車
P31～34



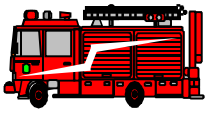
ポンプ車　10台

救急車
P31～34



救急車　8台

特殊車両
P31～34



はしご車	2台
救助工作車	2台
化学車	1台
指揮車	1台
支援車	2台

消防水利
P42



消火栓	3,975基
防火水槽	1,429基
井　戸	1,573基
その他	53基

火　災
P48



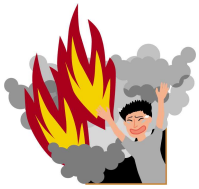
火災件数	58件
（内訳）	
建　物	27件
車　両	4件
その他	27件

出火原因
P54



1位	放火	8件
2位	たばこ	5件
3位	火入れ	4件

火災による死傷者
P48



死　者	2人
負傷者	4人

火災による損害額
P48



138,263千円

救　急
P57



出動件数	11,760件
搬送人員	10,016人

救　助
P66



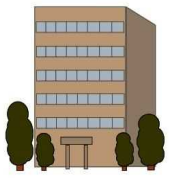
出動件数	235件
救助人員	78人

119番通報受信件数
P38



119番固定電話	7,505件
119番携帯電話	8,200件
そ　の　他	32件
合　計	15,737件

防火対象物
P43



防火対象物数 6,285棟

危険物施設
P45



危険物施設数	536施設
（内訳）	
製造所	4施設
貯蔵所	324施設
取扱所	208施設

消防団
P68・73



分団数	34団
団員数	467人

熊谷市消防本部の沿革

昭和２３年　３月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和３０年　３月	消防本部庁舎を宮町二丁目137番地に竣工
昭和３１年　３月	玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和３３年　５月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和３６年　８月	南分所(現在の荒川分団車庫)を開所
昭和３７年　５月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和４２年１２月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和４７年　４月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の1市1町2村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所　1本部　1署　1分署　2出張所 車両　普通消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車 5台、屈折はしご車1台、救急車3台、指令車1台、 広報車1台、作業車1台、救助艇1艇 職員　113名(定員151名)
昭和４７年　６月	職員を126名に増員
昭和４７年１１月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和４７年１２月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知 させるため、無線付指令車を配置
昭和４８年　１月	職員を130名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同分団に消防車を配置
昭和４８年　２月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張所 を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車1台を配置、 職員各15名 妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４８年　３月	熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４８年　４月	職員を133名に増員
昭和４８年　５月	職員を138名に増員
昭和４８年　８月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用 として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和４８年１２月	熊谷消防団石原分団車庫竣工

昭和４９年　３月	職員を150名に増員
	熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため熊谷消防署に化学車を配置
	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４９年　５月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和４９年１１月	大型地震防災計画の一環として、熊谷消防署及び各出張所(荒川、玉井、大里、江南)に小型動力ポンプ各１台を配置
	熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４９年１２月	高層建築物災害に対処するため、熊谷消防署に35m級はしご付消防車を配置
	増加する救急業務の万全を期するため、熊谷消防署に救急車(3B型)を配置
	職員定数を166名に改正
昭和５０年　２月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和５０年　３月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和５０年　４月	消防長吉野利男氏　埼玉県消防長会会長に就任
昭和５０年　６月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和５０年１０月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置
昭和５０年１１月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置(埼玉県農業共済連　寄贈)
	妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工
昭和５０年１２月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、妻沼消防署に無線付指令車を配置
昭和５１年　１月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和５１年　３月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化による各種災害に万全を期するため、熊谷消防署に消防ポンプ付救助工作車を配置
昭和５１年　７月	職員を151名に増員
昭和５１年　９月	熊谷消防署に火災問合せ専門着信電話装置(3回線)を設置
昭和５１年１０月	消防本部に防災無線電話を設置

昭和５２年　２月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５２年　３月	熊谷消防団別府分団車庫竣工
	建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に訓練塔(3塔)を設置
昭和５２年　５月	火災問合せ専門着信電話装置(2回線)増設
昭和５２年　８月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として熊谷消防署にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和５２年１２月	大型地震防災計画の一環として、妻沼消防署に小型動力ポンプを配置
昭和５３年　２月	消防本部に広報車(普通車)を配置
	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５３年　３月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５３年　４月	職員を153名に増員
昭和５３年　７月	熊谷消防団上石分団車庫竣工
昭和５４年　１月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５４年　２月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和５４年　５月	火災問合せ専用着信電話装置(5回線)を増設
昭和５４年　８月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和５４年１０月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和５４年１２月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を配置
昭和５５年　１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５５年　３月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団太井分団車庫竣工
	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和５５年　５月	職員を159名に増員
昭和５５年　７月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和５５年　８月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和５５年１０月	熊谷市建築課に新庁舎建設設計業務を委託
昭和５６年　１月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置

昭和５６年　２月　　熊谷消防署の救急車(2B型)を更新
昭和５６年　３月　　庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設
熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新
熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５７年　３月　　熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
熊谷消防団奈良分団車庫竣工
昭和５７年　４月　　職員を164名に増員
昭和５７年　５月　　熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任
昭和５７年　８月　　熊谷地区消防組合庁舎建設着工
昭和５７年１１月　　江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５７年１２月　　職員定数を188名に改正
昭和５８年　２月　　熊谷消防署に救急車(2B型)を配置
昭和５８年　３月　　熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５８年　４月　　職員を172名に増員
昭和５８年　６月　　熊谷地区消防組合庁舎竣工
昭和５８年　８月　　熊谷地区消防組合新庁舎業務開始
消防本部、消防署の組織改革を行い、本部に総務課2係、予防課2係、警防課3係を置き、旧本部庁舎を熊谷消防署中央分署として開署
昭和５８年　９月　　通信指令室に消防救急指令装置B型を配置

119番回線	容量48回線、実装8回線		
指令回線	容量48回線、実装6回線		
無線設備	基地局4	市町村波	150.31MHZ
		県内波	148.29MHZ
		全国波	150.73MHZ
		救急(復信)波	147.50MHZ
			143.50MHZ
総合表示盤	ワンタッチ回路　100か所		
電子式交換機	局線容量　24回線、実装7回線		
	内線容量　96回線、実装43回線		

通信指令室に地図検索装置を配置
熊谷消防署及び大里出張所に救助用ボートを配置
昭和５８年１１月　　妻沼消防団長井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５９年　２月　　熊谷消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５９年　３月　　熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を配置

昭和５９年　３月	熊谷消防団中条分団車庫及び佐谷田分団車庫竣工
昭和５９年　４月	職員を177名に増員
昭和５９年　６月	江南出張所に救助用ボートを配置
昭和５９年　７月	荒川出張所に折たたみ式アルミボート(船外機付)を配置 熊谷消防署の査察車(軽四輪)2台を更新
昭和５９年１０月	熊谷消防署に広報装置付四輪駆動車を配置(ホテルサンルート熊谷　寄贈) 熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置 江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署にボートトレーラを配置
昭和６０年　３月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の救急車(2B型)を更新 妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和６０年　５月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋　寄贈)
昭和６０年　７月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を配置
昭和６０年１１月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和６０年１２月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県支部　無償譲渡)
昭和６１年　３月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新 熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ自動車を更新 江南消防団北分団車庫竣工
昭和６１年　７月	職員を178名に増員
昭和６１年　８月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和６１年１０月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和６２年　４月	職員を179名に増員
昭和６２年　８月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を更新
昭和６２年１０月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和６３年　３月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を配置(江南救急車シャシー日本損害保険協会　寄贈)

昭和６３年　４月	機構改革により中央分署を中央消防署に、各出張所（荒川、玉井、江南、大里）を分署に改変
昭和６３年　８月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
昭和６３年１０月	熊谷消防団奈良、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　２月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　３月	妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成　元年　４月	熊谷地区消防組合章を制定
平成　元年　７月	消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
平成　元年　８月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成　元年１０月	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年　２月	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成　２年　３月	熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年　６月	中央消防署の指令車を更新
平成　２年　８月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成　２年１０月	妻沼消防団妻沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年１１月	妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成　３年　２月	妻沼消防署庁舎竣工
平成　３年　３月	妻沼消防団妻沼分団第2部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成　３年　４月	熊谷消防署玉井分署に救急車(2B型)を配置 職員を186名に増員 職員定数を214名に改正
平成　４年　２月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成　４年　３月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　４年　４月	職員を196名に増員
平成　４年１０月	熊谷消防署のスノーケル車を35mのはしご付消防車に更新し、熊谷消防署玉井分署に配置
平成　４年１２月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

平成　５年　１月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　５年　４月	職員を203名に増員
平成　５年　８月	妻沼消防署の指令車を更新
平成　５年　９月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　５年１１月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成　６年　１月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成　６年　２月	熊谷消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新
	(三国コカ・コーラボトリング株式会社　寄贈)
平成　６年　４月	職員を212名に増員
	職員定数を247名に改正
平成　６年　８月	熊谷消防署の指令車を更新
平成　６年　９月	熊谷消防署に赤バイ2台を配置(江田組株式会社　寄贈)
平成　６年１０月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成　６年１１月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成　６年１２月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成　７年　１月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　７年　４月	職員を222名に増員
平成　７年　６月	消防本部の査察車(軽四輪)3台、熊谷消防署の広報車及び妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成　７年　７月	消防本部の装備車を更新
平成　７年１１月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　８年　２月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車(2B型)を更新
平成　８年　３月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団　竿頭綬を受章
平成　８年　４月	本部に通信指令課を設置
	職員を233名に増員
平成　８年　９月	熊谷消防署の広報車1台、熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車各1台を更新
平成　８年１０月	消防職員委員会を設置

平成　８年１０月　　アポロキャップ型略帽を採用

平成　９年　１月　　熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成　９年　２月　　熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新

熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置

平成　９年　３月　　大里消防団北分団車庫竣工

通信指令課に消防緊急通信指令施設Ⅱ型を配置

119番回線　　容量50回線、実装21回線

指令回線　　容量40回線、実装7回線

無線設備　　基地局1局(12装置)

市町村波　　150.31MHZ

県内波　　148.29MHZ

全国波①　　150.73MHZ

〃　②　　148.75MHZ

〃　③　　154.15MHZ

救急(復信)波　　147.50MHZ

143.50MHZ

デジタル交換機　局線容量16回線、実装 9回線

内線容量72回線、実装68回線

平成　９年　４月　　職員を244名に増員

平成１０年　２月　　妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工

熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１０年　３月　　妻沼消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

平成１０年　４月　　携帯電話からの119番通報受信転送システム開始

平成１０年　９月　　熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各1台を更新

平成１１年　１月　　熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１１年　２月　　妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１１年　３月　　江南消防団　竿頭綬を受章

平成１１年　８月　　熊谷消防署の中型輸送車を更新

平成１１年１０月　　消防本部に8人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏　寄贈)

平成１２年　２月　　熊谷消防署玉井分署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新

平成１２年　５月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１２年　８月	消防本部の査察車を更新
平成１２年１０月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
	中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成１３年　４月	職員を245名に増員
平成１３年　６月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第１部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１３年１０月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成１３年１１月	中央消防署指令車を更新
平成１４年　４月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成１４年　８月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成１４年１０月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成１５年　１月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年　２月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第1部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年　７月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成１５年１０月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年１１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成１６年１０月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成１７年　３月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１７年　４月	熊谷消防署に指揮隊を設置
平成１７年　９月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１７年１０月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合)により新熊谷市誕生
	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成１８年１０月	警防課に指揮隊車を配置
平成１８年１１月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１９年　２月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区消防組合が解散
	熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、

平成１９年　２月	中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置 職員定数247名 消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置 団員定数513名
平成２０年　１月	中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新 熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２０年　２月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成２０年　３月	予防課、警防課の査察車を更新
平成２０年　４月	職員を246名に増員 団員定数を528名に改正 女性消防団員を17名採用
平成２０年　９月	水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置
平成２０年１０月	中央消防署の救急自動車(2B型)を高規格救急自動車に更新 熊谷市消防団団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置
平成２０年１２月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２１年　１月	熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新 第1回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２１年　３月	消防本部の指令車を更新 警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新 熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新 指令課に高機能消防指令センターを更新整備 主な装置 ・メール119番、FAX119番、駆け込み119番受付装置 ・発信地表示システム　・災害情報表示装置 ・消防情報支援システム　・車両動態位置管理装置 ・自動出動指定装置　・Eメール災害情報配信システム ・EPVシステム
平成２１年１０月	中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成２１年１２月	中央消防署の高規格救急自動車を更新 中央消防署新庁舎の基本設計を実施
平成２２年　１月	中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施
平成２２年　２月	熊谷市消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新 熊谷市消防団大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成２２年　２月	消防総務課に研修車（天然ガス車）を配置
	第2回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２２年　３月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備
平成２２年　４月	職員を247名に増員
平成２３年　２月	第3回消防音楽隊定期演奏会を開催
	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成２３年　３月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式はしご車（30m）に更新
	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防署に支援車を配置（総務省消防庁　貸与）
	東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成２３年１０月	行田市と消防本部指令センターで消防通信指令事務の共同運用を開始
平成２３年１２月	熊谷市消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２４年　２月	熊谷消防署の指令車を更新
	第4回消防音楽隊定期演奏会（音楽隊発足10周年記念）を開催
	熊谷消防署玉井分署の救助工作車を更新
平成２４年　３月	熊谷市消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２４年１１月	消防本部に救急指導車を配置（故野坂礼子氏　寄贈）
平成２５年　１月	熊谷市消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２５年　２月	第5回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２５年　３月	中央消防署開署
平成２５年　４月	中央消防署荒川分署を廃止し中央消防署に統合
	熊谷消防署玉井分署に中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を配置替
	中央消防署に熊谷消防署玉井分署の救助工作車を配置替
平成２５年１２月	熊谷消防署玉井分署の化学車を更新
	熊谷市消防団中央分団及び江南中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２６年　２月	第6回消防音楽隊定期演奏会を開催
	妻沼消防署の指令車を更新
平成２６年　３月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車を更新
平成２６年１２月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新

平成２７年　１月　　妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２７年　２月　　第7回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２７年　３月　　熊谷消防署玉井分署及び中央消防署の査察車を更新
指令センターに消防救急デジタル無線を整備
主な装置
・空中線柱　・空中線共用器
・受令機　・基地局無線設備
・車載無線機　・携帯無線機
・可搬型無線装置
平成２７年　４月　　警防課から熊谷消防署に指揮係を配置替
平成２７年　９月　　関東・東北豪雨に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成２７年１０月　　予防課の査察車を更新（熊谷市防火安全協会　寄贈）
平成２７年１１月　　中央消防署大里分署及び妻沼消防署の高規格救急自動車を更新
平成２７年１２月　　熊谷消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
消防音楽隊の制服を更新
熊谷市消防団に消防デジタル無線受令機及びデジタル式トランシーバーを整備
平成２８年　２月　　第8回消防音楽隊定期演奏会（熊谷市誕生10周年記念）を開催
平成２９年　２月　　第9回消防音楽隊定期演奏会を開催
熊谷消防署江南分署及び中央消防署の高規格救急車を更新
平成２９年　３月　　熊谷消防署の査察車を更新
中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成２９年　４月　　再任用（短時間）職員の採用を開始
熊谷市消防団後方支援隊発足
平成２９年　８月　　消防総務課の査察車を更新
平成３０年　２月　　熊谷市消防団荒川分団車庫竣工
中央消防署の高規格救急車を更新
第10回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成３０年　３月　　熊谷消防署江南分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成３１年　１月　　中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成３１年　２月　　熊谷消防署の高規格救急車を更新
第11回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成３１年　３月　　高機能消防指令センター設備を一部更新整備
Net119緊急通報システム運用開始
平成３１年　４月　　熊谷消防署の救助工作車と中央消防署の救助工作車を配置替

令和元年	７月	高度救助隊発足
令和元年	１１月	消防総務課の研修車（天然ガス車）を廃車
令和２年	１月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
令和２年	２月	第12回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和２年	３月	熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を警防課へ配置替 熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を更新 熊谷市消防団荒川分団、長井分団及び江南北分団の普通ポンプ自動車を更新 警防課の連絡車を消防総務課へ配置替
令和２年	４月	熊谷市会計年度任用職員の採用を開始
令和２年	１０月	熊谷市消防団上石分団、妻沼分団及び太田分団の普通ポンプ自動車を更新
令和２年	１１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
令和２年	１２月	中央消防署のはしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車（25m級）に更新し、玉井分署の先端屈折式はしご車と配置替 正午のサイレン吹鳴終了
令和３年	１１月	熊谷市長に小林哲也氏就任
令和４年	２月	第14回消防音楽隊定期演奏会を無観客で開催（第13回はCOVID-19感染拡大防止のため中止）
令和４年	３月	中央消防署に支援車Ⅱ型を配置 中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を玉井分署に配置替 熊谷消防署の資機材運搬車を更新
令和４年	１０月	熊谷市消防団三尻分団、男沼分団及び秦分団の普通ポンプ自動車を更新
令和５年	２月	第15回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和５年	３月	熊谷消防署に高規格救急車を配置 熊谷消防署の指揮隊車を更新 中央消防署の救助工作車を更新 熊谷消防署玉井分署の高規格救急車を更新
令和５年	４月	職員定数を275名に改正
令和５年	９月	火災予防手続の電子申請受付を開始
令和５年	９月	熊谷市消防団奈良分団、別府分団及び大里北分団の普通ポンプ自動車を更新
令和５年	１１月	無人航空機及び映像伝送システムを運用開始
令和５年	１２月	中央消防署大里分署の高規格救急車を更新

令和５年	１２月	妻沼消防署の高規格救急車を更新
令和６年	２月	第16回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和６年	４月	日勤救急隊発足
令和６年	５月	熊谷市消防団団本部小隊・中央分団車庫竣工
令和６年	１０月	熊谷市消防団石原分団、妻沼分団及び吉岡分団の普通ポンプ自動車を更新
令和６年	１２月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防署江南分署の高規格救急車を更新
		中央消防署の高規格救急車を更新
令和７年	２月	第17回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和７年	２月	消防本部庁舎の大規模修繕工事完了
令和７年	３月	高機能消防指令センター設備を一部更新整備

組　織　・　予　算



第17回消防音楽隊定期演奏会

歴 代 消 防 長

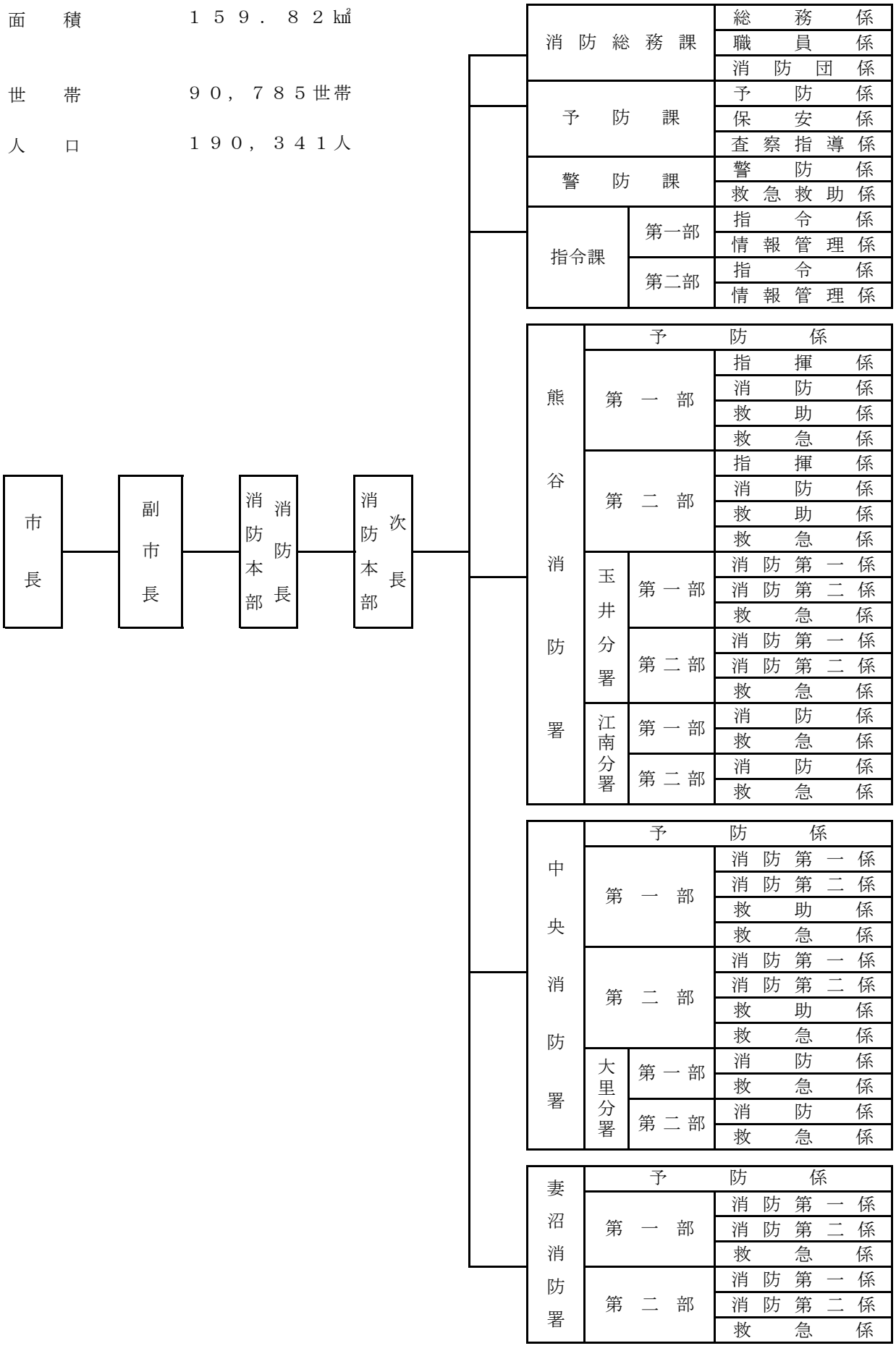
氏　　名	在　　任　　期　　問	備　　考
鴨　田　宗　一	昭和２３年３月～昭和３１年３月	市消防本部
青　木　勝之助	昭和３１年３月～昭和４３年３月	〃
神　尾　貞　治	昭和４３年３月～昭和４７年３月	〃
吉　野　利　男	昭和４７年４月～昭和５７年４月	組合消防本部
門　倉　恒　一	昭和５７年６月～昭和６０年３月	〃
中　村　和　夫	昭和６０年４月～昭和６３年３月	〃
多　田　　浩	昭和６３年４月～平成　６年３月	〃
橋　本　澄　男	平成　６年４月～平成　８年３月	〃
堀　越　　満	平成　８年４月～平成１１年３月	〃
山　川　幸　男	平成１１年４月～平成１５年３月	〃
福　島　正　美	平成１５年４月～平成１７年３月	〃
中　島　裕　一	平成１７年４月～平成１９年２月	〃
中　島　裕　一	平成１９年２月～平成２０年３月	市消防本部
松　葉　一　三	平成２０年４月～平成２２年３月	〃
新　井　義　一	平成２２年４月～平成２３年３月	〃
須　賀　　忠	平成２３年４月～平成２６年３月	〃
木　村　和　行	平成２６年４月～平成２９年３月	〃
宮　本　貢　朗	平成２９年４月～平成３１年３月	〃
倉　本　　豊	平成３１年４月～令和　２年３月	〃
橋　本　政　佳	令和　２年４月～令和　３年３月	〃
渋　澤　健　司	令和　３年４月～令和　４年３月	〃
金　井　秀　行	令和　４年４月～令和　５年３月	〃
松　村　　修	令和　５年４月～令和　６年３月	〃
鯨　井　英　明	令和　６年４月～	〃

消 防 組 織 表

面　積　　１５９．８２㎢

世　帯　　９０，７８５世帯

人　口　　１９０，３４１人



消　防　配　置　図

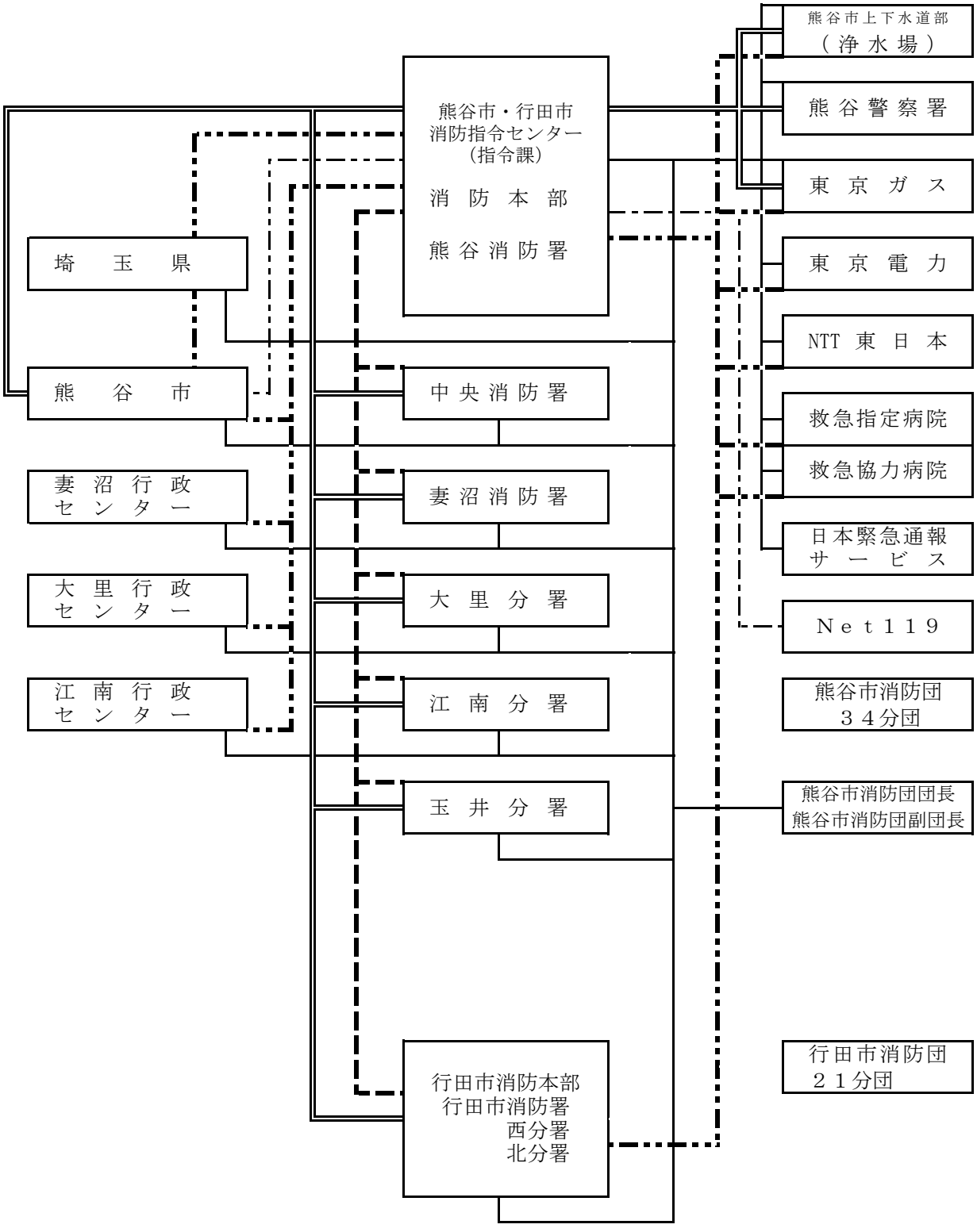

N
群馬県
国道 407 号線
小島
男沼
妻沼
妻沼消防署
弥藤吾
太田
長井
深谷市
秦
奈良
別府
玉井分署
玉井
中条
行田市
大幡
熊谷市消防本部
熊谷消防署
団本部女性
肥塚
三尻
成田
星宮
国道 140 号線
バイパス
上石
団本部
大麻生
石原
中央消防署
中央
筑波
国道 140 号線
国道 17 号線
バイパス
荒川
国道 125 号線
江南北
佐谷田
江南分署
吉岡
上越新幹線
江南中央
久下
太井
国道 17 号線
JR高崎線
江南南
大里北
大里分署
大里中央
大里南
東松山市
凡例
消防本部
消防署
分署
分団

消 防 通 信 系 統 図

専 用 電 話　　消防無線（傍受）　　Ｎｅｔ１１９

加 入 電 話　　防災行政無線（熊谷市）

消 防 無 線　　防災行政無線（埼玉県）



消　防　本　部　事　務　分　掌

消 防 総 務 課	1　消防の総合企画及び調整に関すること。 2　渉外及び儀式に関すること。 3　表彰に関すること。 4　公印の管理に関すること。 5　文書の収受及び管理に関すること。 6　消防が所有する情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 7　消防音楽隊に関すること。 8　特命事項の調査及び研究に関すること。 9　各種会議の開催及び調整に関すること。 10　消防長会に関すること。 11　消防年報の編集発行及び消防広報に関すること。 12　職員の任用、分限、懲戒及び服務に関すること。 13　職員の衛生管理に関すること。 14　職員の被服貸与に関すること。 15　職員の給料、手当及び公務災害補償に関すること。 16　職員の消防に関する研修計画の策定及び実施に関すること。 17　消防職員委員会に関すること。 18　予算要望の取りまとめに関すること。 19　物品の経理及び保管に関すること。 20　消防長の権限に属する例規類の制定及び改廃に関すること。 21　消防長の権限に属する訓令、通達、指令に関すること。 22　庁舎及び構内の保守及び営繕に関すること。 23　消防団に関すること。 24　消防団員に関すること。 25　消防協会に関すること。 26　消防連絡協議会に関すること。 27　他の課に属さない事項の処理に関すること。 28　本部内の連絡調整に関すること。 29　課の庶務に関すること。
予 防 課	1　火災予防の企画に関すること。 2　予防広報に関すること。 3　屋外の火災予防措置命令に関すること。 4　防火協力団体に関すること。 5　防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 6　建築許可等の同意に関すること。 7　防火管理に関すること。 8　危険物等の規制に関すること。 9　危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。 10　消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置の指導に関すること。 11　熊谷市火災予防条例（平成１８年条例第１８４号）に関すること。

予防課	12 液化石油ガス、産業廃棄物、防炎処理等の許可等に係る意見書等の交付に関すること。 13 火薬類取締法（昭和２５年法律第１４３号）及び火薬類取締法施行規則（昭和２５年通商産業省令第８８号）に基づく事務に関すること。 14 高圧ガス保安法（昭和２６年法律第２０４号）に基づく事務に関すること。 15 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和４２年法律第１４９号）に基づく事務に関すること。 16 消防署の予防事務の指導に関すること。 17 その他の予防業務に関すること。 18 課の庶務に関すること。
警防課	1 警防業務の総括に関すること。 2 消防機械器具の整備保全及び配置に関すること。 3 消防水利に関すること。 4 公有自動車共済事務に関すること。 5 消防安全管理に関すること。 6 安全運転管理に関すること。 7 開発行為に伴う消防上の指導に関すること。 8 消防相互応援及び広域応援に関すること。 9 火災警報の発令に関すること。 10 救急業務及び救助業務の企画立案に関すること。 11 救急活動に関すること。 12 消防統計（救急及び救助に係るものに限る。）に関すること。 13 救急高度化事業の推進に関すること。 14 医療機関との連絡調整に関すること。 15 メディカルコントロール協議会に関すること。 16 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。 17 患者搬送事業の指導及び認定に関すること。 18 応急手当の指導普及に関すること。 19 課の庶務に関すること。
指令課	1 出動指令及び転戦指令に関すること。 2 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。 3 消防救急無線の維持管理に関すること。 4 熊谷市・行田市消防通信指令事務協議会に関すること 5 通信技術の指導に関すること。 6 災害情報収集及び活動支援情報の伝達に関すること。 7 口頭指導プロトコールに関すること。 8 気象観測業務に関すること。 9 埼玉県防災行政無線に関すること。 10 衛星通信システムに関すること。 11 緊急通信システムに関すること。 12 消防情報システムに関すること。 13 課の庶務に関すること。

消　防　署　、　分　署　事　務　分　掌

消防署、分署の事務分掌は、水火災の警戒、鎮圧及び救助救急活動に関する事務のほか、次のとおりとする。

消防署	1　公印の保管に関すること。 2　火災予防に関すること。 3　防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 4　防火管理に関すること。 5　消防用設備等（特殊消防用設備等）の検査及び検査済証の交付に関すること。 6　消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検報告に関すること。 7　消防法令に適合している旨の通知書等の交付に関すること。 8　熊谷市火災予防条例（平成１８年条例第１８４号）に関すること。 9　り災証明及び救急搬送証明に関すること。 10　圧縮アセチレンガス等の届出等に関すること。 11　消防水利の保全調査に関すること。 12　消防団、自衛消防隊及び自治会等に対する訓練指導に関すること。 13　火災の原因及び損害の調査に関すること。 14　応急手当の指導普及に関すること。 15　その他消防活動上及び火災予防上必要な事項に関すること。 16　署の安全運転管理に関すること。 17　署の庶務に関すること。
熊谷消防署	熊谷消防署の事務分掌は、前項に掲げる事務のほか、次のとおりとする。 1　消防部隊の訓練及び演習に関すること。 2　指揮活動に関すること。 3　災害活動技術の調査、研究及び計画に関すること。 4　火災の原因及び損害の調査等に係る指導及び支援に関すること。 5　火災等の報告及び統計に関すること。

現　有　人　員

令和７年４月１日現在

階級別 / 所属別			消防吏員 正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計	その他	再任用
実員			1	3	26	56	76	40	32	19	253	0	11
実員配置状況	消防本部	消防長	1								1		
		次長		1							1		
		消防総務課		1	3	2	8 (2)	1 (1)	4 (4)	1	20 (7)		1
		予防課			2	3	2	1			8		1
		警防課			2	2	6	1	1		12		1
		指令課			3	4	4				11		
	消防署	熊谷消防署		1	5	10	14	7	7	6	50		3
		玉井分署			1	9	8	4	5	4	31		
		江南分署			1	7	5	2	4		19		
		中央消防署			4	7	15	13	7	3	49		3
		大里分署			1	6	6	3	2	1	19		
		妻沼消防署			4	6	8	8	2	4	32		2

※（　）内書きは、派遣職員及び消防総務課付学生
※ 実際の配置状況による。

消　防　職　員　年　齢　状　況

令和７年４月１日現在

階級別 / 年齢別	消防吏員 正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計	その他	再任用
１８歳～２０歳								7	7		
２１歳～２５歳							12	11	23		
２６歳～３０歳						12	17	1	30		
３１歳～３５歳					2	27	3		32		
３６歳～４０歳					24	1			25		
４１歳～４５歳					22				22		
４６歳～５０歳			3	25	23				51		
５１歳～５５歳			9	21	4				34		
５６歳～５９歳	1	3	14	4	1				23		
６０歳以上				6					6		11
人員計	1	3	26	56	76	40	32	19	253	0	11
平均年齢	59	57	55	52	43	31	26	21	40	0	62

消　防　職　員　勤　続　年　数　状　況

令和７年４月１日現在

階級別 / 勤続年数別	消防吏員								合計	その他	再任用
	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士			
１　年　未　満								10	10		5
１年以上～５年未満	1						14	9	24		6
５年以上～10年未満						8	18		26		
10年以上～15年未満					8	26			34		
15年以上～20年未満					24	6			30		
20年以上～25年未満			1	1	19				21		
25年以上～30年未満			2	19	18				39		
３　０　年　以　上		3	23	36	7				69		
人　員　計	1	3	26	56	76	40	32	19	253	0	11
平均勤続年数	2	39	35	32	22	11	5	1	20	0	2

常　備　消　防　管　内　情　勢

令和７年４月１日現在

区分 / 所属別	世帯数	人口	職員現在数	再任用	職員１人当り	
					世帯数	人口
消　防　本　部			53	3		
熊　谷　消　防　署	12,930	27,971	50	3	259	559
玉　井　分　署	18,852	40,420	31		608	1,304
江　南　分　署	6,697	13,938	19		352	734
中　央　消　防　署	36,402	73,704	49	3	743	1,504
大　里　分　署	5,387	11,581	19		284	610
妻　沼　消　防　署	10,517	22,727	32	2	329	710
合　計	90,785	190,341	※　200	11	454	952

※　職員現在数の合計は消防本部職員現在数を除いたものとなっています。

消　防　職　員　研　修　状　況　（現職）

令和７年４月１日現在

科目別 ＼ 年度別			～R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
消防大学校	総合教育	幹部科（Ｈ１８～）	4				1		5
		上級幹部科							
		新任消防長・学校長科							
	専科教育	警防科	8					1	9
		救助科	5		1				6
		救急科	2		1				3
		予防科	2						2
		危険物科（Ｈ１８～）							
		火災調査科	5						5
	指揮隊長コース		2				1		3
	緊急消防援助隊航空隊長コース								
	高度救助・特別高度救助コース			1					1
	自主防災組織育成コース		1						1
	女性活躍推進コース		2						2
	査察業務マネジメントコース		1			1		1	3
埼玉県消防学校	初任教育		209	2	6	5	7	5	234
	専科教育	警防科（Ｈ１７～）	26	2	2	2	2	2	36
		予防査察科（Ｈ１６～）	19	3		3		2	27
		火災調査科	17		3		1		21
		特殊災害科	10	2		2		2	16
		救急科	143	3	8	8	8	8	178
		救助科（Ｈ２～）	43	2	2	2	2	2	53
	特別教育	警防活動教育	27		2	2	2	2	35
		水難救助員教育	5						5
		実科指導員教育	12		2		2		16
		女性消防操法指導員教育	2						2
		実火災訓練指導者教育	1						1
		実火災訓練教育	2	2	3	2	2	2	13
		幹部特別教育	4						4
	初級幹部科		18	2	2	2	2	2	28
	中級幹部科								
	上級幹部科								
	埼玉県救急救命士養成所		20		1	1	1	1	24
救急救命東京研修所			18						18
救急救命九州研修所			1						1
合計			609	19	33	30	31	30	752

消防吏員特殊技能その他資格取得者数

令和７年４月１日現在

種別 ＼ 階級別			正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
自動車運転免許	大型	第一種		3	26	56	74	40	26	4	229
		第二種			2		1				3
		特殊				1					1
	中型	第一種		3	26	56	71	1	1		158
	自動二輪車（含中型）				11	19	21	7	8	5	71
危険物取扱者免許	甲種								1		1
	乙種	第１類							2	1	3
		第２類							1		1
		第３類						1	1	1	3
		第４類			11	18	13	6	6	1	55
		第５類							1	1	2
		第６類						1	1		2
	丙種				7	25	22				54
消防設備士免許	甲種	第１類					1				1
		第２類									
		第３類					1				1
		第４類					3				3
		第５類					1				1
	乙種	第１類			1	1					2
		第２類									
		第３類									
		第４類				1	1				2
		第５類									
		第６類			3	8	7	2	1		21
		第７類					1				1
小型船舶操縦士免許	１級				1		2			1	4
	２級				8	22	17	7	1		55
	特殊				5	15	15	10	5		50
救急救命士					11	12	28	7	6	2	66
指導救命士					1	5	3				9
救急（標準）資格者				1	8	38	48	34	16		145
救急Ⅱ資格者				2	6	5					13
ＪＰＴＥＣインストラクター					3	5	3	1			12
ＪＰＴＥＣプロバイダー					12	16	21	15	7		71

種別 ＼ 階級別		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
無線技士免許	陸上特殊1級			1	2	1				4
	陸上特殊2級		3	9	3	7		1		23
	陸上特殊3級	1		15	33	55	40	28	3	175
玉掛け技能				6	8	17	10	5		46
小型移動式クレーン技能				6	8	16	11	4		45
電気工事士				2	1	2	1		1	7
特定化学作業主任者			1	11	15	5				32
第二種酸素欠乏危険作業主任者				5	12	14	9	3		43
潜水士				9	12	21	10	10		62
ダイバー技能				3	8	10				21
足場組立					1					1
防災士		1		2	3	4				10
二級建築士			1							1
衛生管理者			1	3	5	5				14
テクニカルロープレスキュー				2	9	2				13
スイフトウォーターレスキュー					2					2
予防技術資格者	防火査察			7	26	34	25	9		101
	消防用設備等			5	7	8	1			21
	危険物			5	6	8	2			21

消防費予算

令和７年度市当初予算額（一般会計）と消防費予算額の割合

市予算額 （千円）	消防費予算額 （千円）	割合 （%）
79,700,000	2,874,637	3.6

消防費予算額の内訳

款	項	目	予算額(千円)
消防費	消防費		2,874,637
		消防総務費	2,289,461
		常備消防費	348,016
		消防団費	110,111
		防災費	127,049

消防費予算額と人口、世帯の割合

令和７年４月１日現在

消防費予算額 （千円）	人口		世帯	
	人口	1人当り （円）	世帯	1世帯当り （円）
2,874,637	190,341	15,103	90,785	31,664

消　防　音　楽　隊

式典及び諸行事に参加し、音楽活動を通じて、広く地域住民に対して、消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発活動を図るため、平成１３年１０月１日に設立しました。消防関係行事をはじめ、市主催の各種行事にも参加し、演奏を行いながら消防のＰＲに努めています。

編成（令和７年４月１日現在）

⑴　隊員編成

隊長　１人　　副隊長　２人　　隊員　２１人　　合計　２４人

⑵　使用楽器

楽器名	楽器名
フルート	フレンチホルン
クラリネット	ユーフォニアム
ソプラノサックス	ドラムセット
アルトサックス	バスドラム
テナーサックス	シンバル
バリトンサックス	シロフォン
トランペット	グロッケン
トロンボーン	ウィンドチャイム
ティンパニー	チューバ

⑶　令和６年度演奏実績

・くまがやエコライフフェア２０２４
・ジャパンラグビーリーグワン
・第２０回熊谷市産業祭
・ぼうさいパークフェスティバル
・令和７年熊谷市成人式
・勤労会館閉館セレモニー
・第１７回熊谷市消防音楽隊定期演奏会

消 防 施 設 ・ 機 械



令和６年６月大規模修繕開始時の本部庁舎

消防本部、消防署、分署庁舎一覧表

令和７年４月１日現在

	所在地	構造等	延面積（㎡）	建築年月
熊谷市消防本部 熊谷消防署	原島675番地1	鉄筋コンクリート造三階建	2,432.03	S58.6
訓練塔		鉄骨造 A塔　高さ 17.0m B塔　高さ 8.5m C塔　高さ 8.5m D塔　高さ 8.5m		 H5.3 6.3 4.3 15.3
修理工場		鉄骨造平家建	85.00	S53.8
高圧ガス 容器貯蔵庫		コンクリートブロック造 平家建	8.76	S55.3
空気ボンベ 充填庫		コンクリートブロック造 平家建	18.26	H22.3
玉井分署	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	1,199.61	H3.3
江南分署	千代113番地2	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
中央消防署	末広二丁目134番地	鉄筋コンクリート造四階建 （四階は公民館）	2,996.78 （消防 2,273.16 公民館 723.62）	H25.2
大里分署	中曽根646番地	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
妻沼消防署	妻沼1720番地1	鉄筋コンクリート造三階建	1,198.80	H3.2

消防ポンプ自動車等性能一覧表

令和７年４月１日現在

	車　名	種　別	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量（CC）	ポンプ型式	備　　考
消防本部	本部車	広報車	ニッサン TA-WFY11	埼玉日産	H13	24	1,490		無線、AT、AVM
	消防総務１号車	連絡車	ニッサン HBD-DR17V	埼玉日産	H29	8	650		AT
	消防総務２号車	連絡車	マツダ EBD-DG64V	関東マツダ	H20	17	650		AT
	予防１号車	査察車	スズキ EBD-DA64V	関東イスズ	H19	18	650		無線、AT
	予防２号車	連絡車	トヨタ DAA-NKE165G	トヨタカローラ新埼玉	H27	10	1,490		ハイブリッド、無線、AT
	警防１号車	広報車	ホンダ DBA-RG1	ホンダカーズ	H20	17	1,990		無線、AT、カーナビ、AVM
	警防２号車	装備車	スズキ EBD-DA64V	関東イスズ	H19	18	650		無線、AT、車両整備機材積載
	警防３号車	多目的車	イスズ CBF-JCSGE25	関東イスズ	H20	17	2,480		AT、カーナビ
	救急指導車	救急指導車	トヨタ DBA-ZRR75W	埼玉トヨタ	H24	13	1,980		AT、カーナビ
熊谷消防署	熊谷指揮１号車	指揮車	トヨタ 3BF－TRH226S	平和機械㈱	R4	3	2,690		無線機2台、4WD、AT、AVM、FAX、PC 指揮用機材、緊急消防援助隊登録
	熊谷１号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	㈱ネイチャー	H27	10	6,400	A-2級	水Ⅱ型、水槽2,000ℓ、無線 AVM、照明灯(LED90W×4)、 電動ホースカー
	熊谷２号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2KG-XZU685M	㈱モリタ	R2	5	4,000	A-2級	CD-1型、無線、4WD、牽引フック、AVM、 キャフス装置、照明灯(ハロゲン500W×2)、 電動ホースカー、緊急消防援助隊登録
	熊谷救助１号車	救助工作車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	㈱モリタ	H23	14	6,400		救助Ⅲ型、無線、AVM、照明灯(450W×2) クレーン2,93t、ウインチ(フロント5t、リヤ5t)、 埼玉県特別機動援助隊登録、緊急消防援助隊登録
	救急熊谷１号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H30	7	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ 緊急消防援助隊登録
	救急熊谷２号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R4	3	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	熊谷指令１号車	指令車	マツダ DBF-BVY12	マツダオートザム	H23	14	1,490		無線、AT、AVM
	熊谷査察１号車	査察車	ニッサン HBD-DR17V	埼玉日産	H28	9	650		無線、AT、4WD
	熊谷支援１号車	支援車	ヒノ BDG-FQ1EWYG	ヨコハマモーターセールス	H22	15	12,910		無線、4WD、パワーゲート、拡張室 定員10(26)人、緊急消防援助隊登録

	車　名	種　別	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量（CC）	ポンプ型式	備　　考
熊谷消防署	熊谷機材１号車	資機材搬送車	ヒノ 2KG-XZU775M	北村製作所	R3	4	4,000		3tロングボディー、無線 AVM、パワーゲート、４WD
	中型輸送車	人員輸送車	ミツビシ 2RG-BE740G	三菱ふそう	R1	6	2,990		AT、カーナビ
	熊 谷 トレーラ	ボート トレーラ	キング	㈱スナガ	H21	16			熊谷ボート用
	熊 谷 ボート	救助用 ボート	ヤマハ W-18E		S61	39			船外機M-25C-25PSトーハツ
	熊 谷 ボート１	救助用 ボート	アキレス FRB-380		R2	5			船外機JET20-20PSマーキュリー
玉井分署	玉井１号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	㈱ネイチャー	H22	15	6,400	A-2級	水ＩB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、 電動ホースカー
	玉井２号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2DG-XZU685M	㈱モリタ	R6	1	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線、AVM、キャフス装置 照明灯（LED90W×4)、電動ホースカー
	熊谷梯子１号車	はしご付消防自動車	ヒノ 2PG-FH1AGA	㈱モリタ	R2	5	8,860		MSC25型、無線、AT AVM、25m級、屈折はしご型 バスケット
	熊谷化学１号車	化学車	ヒノ SDG-GD7JGAA改	㈱ネイチャー	H25	12	6,400	A-2級	化学Ⅱ型、水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ 無線、AVM、キャフス装置、照明灯 (メタハラ150W×2)、電動ホースカー
	救急玉井１号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R4	3	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	玉井査察１号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H26	11	650		無線、AT、4WD
江南分署	江南１号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ 2KG-GX2ABA	㈱ネイチャー	H29	8	5,120	A-2級	水ＩB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、ｶｰﾅﾋﾞ、電動ホースカー 照明灯(LED90W×4)
	救急江南１号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R6	1	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	江南査察１号車	査察車	ミツビシ GBD-U62V	ミツビシ	H25	12	650		無線、4WD
	江 南 ボート	救助用 ボート	アキレス LRB-330		H26	11			定員６名
	江南可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38-AS	トーハツ	S49	51	385	B-3級	

	車　名	種　別	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量（CC）	ポンプ型式	備　　考
中央消防署	中央１号車	支援車	ヒノ 2KG-GX2ABA	㈱モリタ	R3	4	5,120	B-1級	水槽コンテナ（水槽2,200ℓ.小型動力ポンプ）、箱型コンテナ、平ボディーコンテナ、無線、AVM、4WD、緊急消防援助隊登録
	中央２号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	㈱モリタ	H21	16	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線、AVM、キャフス装置 照明灯(メタハラ70W×2)、電動ホースカー 緊急消防援助隊登録
	中央３号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	㈱モリタ	H21	16	6,400	A-2級	水ＩB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、 電動ホースカー
	熊谷梯子２号車	はしご付消防自動車	ヒノ LDG-PR1APBF	㈱モリタ	H22	15	8,860		MLJSH5-30S型、無線、AT、4WS AVM、30m級、先端屈折 リフター、バスケット
	熊谷救助２号車	救助工作車	ヒノ 2KG-GX2ABA	㈱モリタ	R4	3	5,120		救助Ⅱ型、無線、カーナビ、4WD、クレーン2.93t AVM、油圧ウインチ(フロント5.5ｔ) 照明灯(160W×4)
	救急中央１号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R6	1	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	救急中央２号車	救急車	ニッサン CBF-FPWGE50改	㈱オーテックジャパン	H29	8	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ、 緊急消防援助隊登録
	中央指令１号車	指令車	トヨタ DBA-GRX120	埼玉トヨペット	H20	17	2,490		無線、AT
	中央査察１号車	査察車	マツダ HBD-DG17V	マツダオートザム	H30	7	650		無線、AT、4WD
	中央査察２号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H26	11	650		無線、4WD
	中　央ボート	救助用ボート	エイボン社		H21	16			船外機M8A-8PS　トーハツ
	中央可搬式ポンプ1	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	51	385	B-3級	
大里分署	大里１号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	㈱ネイチャー	H28	9	6,400	A-2級	水ＩB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、ｶｰﾅﾋﾞ、照明灯(LED90W×4) 電動ホースカー、緊急消防援助隊登録
	救急大里１号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R5	2	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	大里査察１号車	査察車	ミツビシ GBD-U62V	ミツビシ	H25	12	650		無線、4WD
	大　里ボート	救助用ボート	アキレス LRB-330		H26	11			定員6名
	大里可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	シバウラ L618Z	シバウラ	H22	15	600	B-2級	

	車　名	種　別	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量（CC）	ポンプ型式	備　　考
妻沼消防署	妻沼１号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	㈱モリタ	H21	16	6,400	A-2級	ＷＩＢ型、水槽1,500ℓ、無線AVM、照明灯（メタハラ70W×2）、電動ホースカー
	妻沼２号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ TKG-XZU685M	㈱モリタ	H26	11	4,000	A-2級	CD-Ｉ型、無線、AVM、4WD、牽引フック、キャフス装置、電動ホースカー、緊急消防援助隊登録
	救急妻沼１号車	救急車	ニッサン 3BF-CS8E26改	日産車体㈱	R5	2	2,480		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ
	妻沼指令１号車	指令車	ニッサン DBA-NT31	ニッサン	H25	12	1,990		無線、AT、AVM、4WD、牽引フック
	妻沼査察１号車	査察車	マツダ HBD-DG17V	マツダ オートザム	H30	7	650		無線、AT、4WD
	妻 沼 トレーラ	ボート トレーラ	サン自動車		H7	30			妻沼ボート用
	妻沼バイク トレーラ	水上バイク トレーラ	キング	㈱スナガ	H20	17			熊谷水上バイク1用
	妻 沼 ボート	救助用ボート	スナガ SF-16		H7	30			船外機MERC15-13PSマーキュリー
	熊谷水上バイク１	水上バイク	BRP社	㈱スナガ	H20	17	1,494		船内機ROTAX1503-131PS
	妻沼可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	V-175BS	トーハツ	S54	46	746	B-2級	
非常用車両	予備１水槽車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ PB-GD7JGFA改	㈱ネイチャー	H16	21	6,400	A-2級	ＷＩＢ型、水槽1,500ℓ、無線、AVM照明灯（メタハラ400W×4）
	予備２ポンプ車	普通消防ポンプ自動車	ミツビシ KK-FG73ED	日本エレファント	H15	22	5,240	A-2級	CD-Ｉ型、無線傍受機、AVM
	予備３ポンプ車	普通消防ポンプ自動車	イスズ PB-NKR81N	小池株式会社	H16	21	4770	A-2級	CD-Ｉ型、無線傍受機
	救急熊谷３号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	17	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、バックアイ

主な救助用資器材の保有状況

令和７年４月１日現在

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
一般救助用器具	かぎ付き梯子	9	1	3	1	3		1
	三連梯子	13	3	3	1	3	1	2
	ワイヤー梯子	3	1	1		1		
	空気式救助マット	2	1			1		
	救命索発射銃	2	1			1		
	サバイバースリング及び縛帯	7	2	2		3		
	平担架	3	1	1		1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	1			1		
	油圧スプレッダー	2	1			1		
	可搬ウインチ	2	1			1		
	マンホール救助器具	2	1			1		
	マット型空気ジャッキ	2	1			1		
	大型油圧スプレッダー	2	1			1		
	救助用支柱器具	2	1			1		
	チェーンブロック	1	1					
切断用器具	油圧切断器	3	1			2		
	エンジンカッター	11	2	3	1	3	1	1
	ガス溶断器	2	1			1		
	チェーンソー	8	2	1	1	2	1	1
	鉄線カッター	13	2	3	1	4	1	2
	空気鋸	2	1			1		
	大型油圧切断器	2	1			1		
	空気切断器	2	1			1		
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	1					
破壊用器具	万能斧	15	4	4	2	2	2	1
	ハンマー	14	5	2	1	3	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	3	1			1		1
	削岩機	2	1			1		
	ハンマドリル	3	2			1		
測定用器具	可燃性ガス測定器	10	3	1	1	3	1	1
	有毒ガス測定器	13	5	1	1	4	1	1
	酸素濃度測定器	10	3	1	1	3	1	1
	放射線測定器	17	12			4		1
	化学剤検知器	1	1					
呼吸保護用器具	空気呼吸器	75	18	17	5	22	5	8
	酸素呼吸器	10	5			5		
	簡易呼吸器	15	7			8		
	防塵マスク	61	21	5	5	15	5	10
	送排風機	9	2	2	1	2	1	1

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
隊員保護用器具	耐電手袋	41	5	8	8	8	4	8
	耐電衣	11	2	4		5		
	耐電ズボン	11	2	4		5		
	耐電長靴	11	2	4		5		
	防塵メガネ	25	5	5		10		5
	携帯警報機	47	13	13	4	9	4	4
	防毒マスク	25	15			10		
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	62	34			28		
	陽圧式化学防護服	17	15			2		
	耐熱服	5	2	3				
	放射線防護服	4	2			2		
除染器具	除染シャワー	3	2			1		
	除染剤散布器	2	1			1		
水難救助器具	潜水器具	10	10					
	救命胴衣	61	12	4	6	16	6	17
	救命浮環	8	3		1	2	1	1
	救命ボート	6	2		1	1	1	1
	船外機	4	2			1		1
	浮標	1	1					
山岳器具	バスケット担架	6	2			3		1
検索器具	簡易画像探索機	4	1	1		2		
高度救助用器具	画像探索機	2	2					
	地中音響探知機	1	1					
	熱画像直視装置	9	2	1	1	3	1	1
	夜間用暗視装置	1	1					
	電磁波探査装置	1	1					
	地震警報機	1	1					
その他の救助用器具	投光器	16	4	4	1	4	1	2
	携帯投光器	55	13	12	7	12	5	6
	携帯拡声器	19	4	5	1	6	1	2
	携帯無線機	31	10	5	2	8	2	4
	応急処置用セット	10	2	2	1	3	1	1
	車両移動器具	6	4			2		
	緩降機	4	1	1		2		
	ロープ登降機	2	1			1		
	救助用降下機	7	5			2		
	発電機	18	4	4	1	6	1	2

通　信　施　設

令和７年４月１日現在

区　　分			本部・熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合計
119回線			12						12
消防専用回線				1	1	1	1	1	5
加入電話			29	3	3	5	3	5	48
埼玉県衛星通信ネットワーク			1						1
聴覚障害者専用FAX			1						1
警察専用電話			1						1
東京ガス専用電話			1						1
市水道部			1		.				1
市役所直通電話			1						1
日本緊急通報サービス			2						2
災害情報案内テレフォンサービス			10						10
携帯電話			8	2	2	5	2	2	21
タブレット端末			5	1	1	2	1	1	11
市防災行政無線			1						1
Net119			1						1
県防災行政無線			2						2
消防救急無線	超短波	基地局	1						1
		車載局	16	6	3	10	3	6	44
		携帯局	17(2)	5	2	8	2	4	38(2)

※（　）内書きは、可搬型携帯局

１１９番通報受信件数

令和６年中

	119	IP119	携帯119	ヘルプネット	合　計
火　災	18	23	75		116
救　急	1,702	3,463	5,683	19	10,867
救　助	15	4	58		77
警　戒	29	9	87		125
試　験	388	3	2	10	403
通報訓練	316	511	90		917
間違い	217	62	619		898
いたずら	44	2	62		108
病院問合せ	67	119	603		789
一般問合せ	110	95	379	3	587
その他	178	130	542		850
合　計	3,084	4,421	8,200	32	15,737

※一般加入電話から指令センター（048-501-0116）への病院問合せ件数

1,198件

消　防　水　利



消　防　水　利　状　況

令和７年４月１日現在　単位（基）

種別＼分団別			石原	荒川	上石	中央	筑波	肥塚	成田	佐谷田	久下	大幡	大麻生
防火水槽	100㎥以上	公設	1			2						1	
		私設			1	1	4						
	40㎥以上100㎥未満	公設	7	3	16	3	4	4	8	7	3	20	24
		私設	14	14	20	9	30	6	12	5		18	20
	20㎥以上40㎥未満	公設	4	4	17	1		6		2		23	16
		私設	18	34	26	22	31	13	18	11	3	36	22
掘井戸	40㎥以上	公設		2		1	2		1	1	2		
		私設					1						
	20㎥以上40㎥未満	公設	7	2		16	10	5	9	11			
		私設											
	20㎥未満	公設	3	5		1		3	2			4	
		私設					1						
さく井式井戸	40㎥以上	公設	1	6		7	28	8	75	81	36		
		私設		3		1	15	10	43	30	12	2	
	20㎥以上40㎥未満	公設	1	9		11	8	31	35	26	14	7	
		私設	1				4	7	8	6	3	3	
	20㎥未満	公設		6				4	1		1		
		私設							1				
消火栓		公設	126	152	125	138	147	131	217	111	83	149	148
		私設											
その他			4	3		1	1		3	2	1	2	4
合　計			187	243	205	214	286	228	433	293	158	265	234

種別＼分団別			玉井	中条	奈良	別府	三尻	吉岡	太井	星宮	妻沼	弥藤吾	男沼
防火水槽	100㎥以上	公設					1						
		私設	1				2						
	40㎥以上100㎥未満	公設	25	1	3	4	49	16		1	5	5	6
		私設	37	5	11	4	35	24	1		18	11	11
	20㎥以上40㎥未満	公設	30		14	18	24	10			2		
		私設	46	4	11	8	57	16		1	5	2	4
掘井戸	40㎥以上	公設		1	4	1		4				1	3
		私設											
	20㎥以上40㎥未満	公設		8	7	5		1		6	20	4	26
		私設											
	20㎥未満	公設		2	8			2			12	13	4
		私設											
さく井式井戸	40㎥以上	公設		33	11	1			18	19	9	4	
		私設		8	3				9	5	17	2	
	20㎥以上40㎥未満	公設		60	27	8		1	3	9	27	21	16
		私設		8	4	1		3			21	13	2
	20㎥未満	公設						1			3		1
		私設						2				1	
消火栓		公設	375	128	138	116	316	170	15	43	112	65	63
		私設	1										
その他			3	2	2	2	3	3		1	2	2	1
合　計			518	260	243	168	487	253	46	85	253	144	137

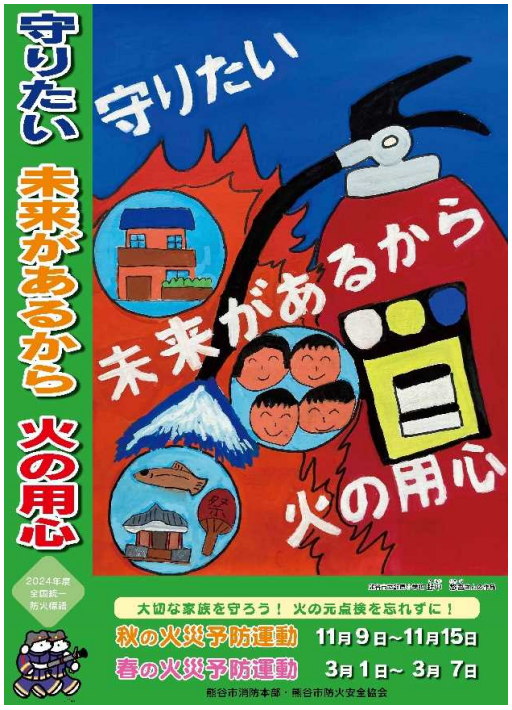
種別＼分団別			小島	太田	長井	秦	大里中央	大里北	大里南	江南中央	江南北	江南南	合計
防火水槽	100㎥以上	公設											5
		私設								2			11
	40㎥以上100㎥未満	公設	1	9	14	5		2	11	14	5	11	286
		私設		9	31	3	1	3	8	28	9	11	408
	20㎥以上40㎥未満	公設		1	2		10	15	28	16	23	18	284
		私設		2	3	3	1	2	4	23	4	5	435
掘井戸	40㎥以上	公設			1	2		3					29
		私設											1
	20㎥以上40㎥未満	公設	10	24	23	27		1					222
		私設											
	20㎥未満	公設	2	6	13	14		2					96
		私設											1
さく井式井戸	40㎥以上	公設		2	9	5	7	24	6				390
		私設		3	12	2		2					179
	20㎥以上40㎥未満	公設	9	32	42	29	8	21	13				468
		私設		19	32	5		3					143
	20㎥未満	公設	2	4	2		2	4	2				33
		私設		2	4				1				11
消火栓		公設	13	90	119	66	19	57	94	193	121	130	3,970
		私設			1							3	5
その他			1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	53
合　計			38	204	309	162	49	140	169	277	163	179	7,030

署　別　消　防　水　利　状　況

令和７年４月１日現在　単位（基）

種別＼署別			熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合計
防火水槽	100㎥以上	公設	1	1		3			5
		私設	1	3	2	5			11
	40㎥以上100㎥未満	公設	61	78	43	43	16	45	286
		私設	69	76	67	96	17	83	408
	20㎥以上40㎥未満	公設	64	72	58	23	62	5	284
		私設	94	111	42	156	13	19	435
掘井戸	40㎥以上	公設	5	1	2	9	5	7	29
		私設				1			1
	20㎥以上40㎥未満	公設	16	5	1	65	1	134	222
		私設							
	20㎥未満	公設	14		1	14	3	64	96
		私設				1			1
さく井式井戸	40㎥以上	公設	45	1		278	37	29	390
		私設	14			127	2	36	179
	20㎥以上40㎥未満	公設	96	8		145	43	176	468
		私設	17	1	2	27	4	92	143
	20㎥未満	公設				12	9	12	33
		私設				1	3	7	11
消火栓		公設	633	807	529	1,218	255	528	3,970
		私設		1	2		1	1	5
その他			10	8	4	16	6	9	53
合　計			1,140	1,173	753	2,240	477	1,247	7,030

火　災　予　防



熊谷市立籠原小学校
野中　悠吾さんの作品です。



熊谷市立妻沼小学校
女ケ沢　華子さんの作品です。

令和6年度第28回防火ポスターコンクールにおいて、
最優秀賞を受賞した作品です。

防　火　対　象　物　数

令和７年４月１日現在（検査実施対象物数は令和６年度中）

用途別		防火対象物		
		令第6条該当対象物	検査を要する対象物	検査実施対象物
(1)	劇場、映画館、集会場の類	92	55	1
(2)	キャバレー、遊技場の類	21	13	
(3)	料理店、飲食店の類	166	43	1
(4)	百貨店、マーケットの類	281	142	3
(5)	旅館、共同住宅の類	1,801	791	4
(6)	病院、福祉施設、幼稚園の類	452	266	13
(7)	小、中、高、大学、各種学校の類	250	210	3
(8)	図書館、博物館の類	7	6	
(9)	公衆浴場、特殊浴場の類	9	5	
(10)	車両の停車場の類	2	2	
(11)	社寺、教会の類	65	44	1
(12)	工場、作業場の類	812	539	12
(13)	自動車車庫、駐車場の類	50	33	
(14)	倉庫	718	442	3
(15)	前各号に該当しない事業場	877	626	2
(16)	複合用途防火対象物	666	471	5
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財、重要民族資料等	16	1	
(18)	アーケード			
(19)	山林			
(20)	舟車			
合計		6,285	3,689	48

消　防　同　意　件　数

令和６年度中

工事別 / 用途別	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
劇場、映画館、集会場の類	1								1
キャバレー、遊技場の類									
料理店、飲食店の類	3								3
百貨店、マーケットの類	5								5
旅館、共同住宅の類	18								18
病院、福祉施設、幼稚園の類	11								11
小、中、高、大学各種学校の類									
図書館、博物館の類									
公衆浴場、特殊浴場の類									
車両の停車場の類									
社寺、教会の類									
工場、作業場の類	5	1							6
自動車車庫、駐車場									
倉庫	11	1							12
前各号に該当しない事業場	20	1							21
複合用途	6								6
重要文化財の類									
専用住宅	32								32
危険物製造所等	2								2
建築設備									
その他	59								59
合計	173	3							176

危険物の類別製造所等施設数

令和７年４月１日現在

施設別＼類別			対象施設数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所			4				2			2
貯蔵所	屋内貯蔵所		93	1	2		84			6
	屋外タンク貯蔵所		56				56			
	屋内タンク貯蔵所		11				11			
	地下タンク貯蔵所		116				116			
	簡易タンク貯蔵所		3				3			
	移動タンク貯蔵所		31				31			
	屋外貯蔵所		14				14			
取扱所	給油取扱所	営業用（セルフ）	42 (15)				42 (15)			
		自家用	60				60			
	第1種販売取扱所		3				3			
	第2種販売取扱所									
	一般取扱所		103				100			3
合計			536	1	2		522			11

危険物の指定数量倍数別製造所等施設数

令和７年４月１日現在

施設別＼倍数別			5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超え5000倍以下	合計
製造所				3		1					4
貯蔵所	屋内貯蔵所		45	20	19	4	3	1	1		93
	屋外タンク貯蔵所		13	5	23	7	1	3	4		56
	屋内タンク貯蔵所		8	3							11
	地下タンク貯蔵所		48	34	22	6	4	1	1		116
	簡易タンク貯蔵所		3								3
	移動タンク貯蔵所		20	1	3	6	1				31
	屋外貯蔵所		6	6	2						14
取扱所	給油取扱所	営業用（セルフ）		1		5	11	10 (2)	15 (13)		42 (15)
		自家用	6	13	35	5	1				60
	第1種販売取扱所		1	2							3
	第2種販売取扱所										
	一般取扱所		39	31	25	2	1	1	4		103
合計			189	119	129	36	22	16	25		536

防 火 対 象 物 別 消 防 訓 練 実 施 状 況

令和６年中

用途別		実施回数	参加人員
(1)	劇場、映画館、集会場の類	59	862
(2)	キャバレー、遊技場の類	8	41
(3)	料理店、飲食店の類	76	332
(4)	百貨店、マーケットの類	166	2,342
(5)	旅館、共同住宅の類	40	696
(6)	病院、福祉施設、幼稚園の類	405	18,123
(7)	小、中、高、大学、各種学校の類	32	12,586
(8)	図書館、博物館の類	3	75
(9)	公衆浴場、特殊浴場の類	5	58
(10)	車両の停車場の類		
(11)	社寺、教会の類	7	276
(12)	工場、作業場の類	46	5,358
(13)	自動車車庫、駐車場		
(14)	倉庫	4	232
(15)	前各号に該当しない事業場	57	1,756
(16)	複合用途防火対象物	324	13,247
(16の2)	地下街		
(16の3)	準地下街		
(17)	重要文化財、重要民族資料等		
(18)	アーケード		
(19)	山林		
(20)	舟車		
合計		1,232	55,984

火　　災



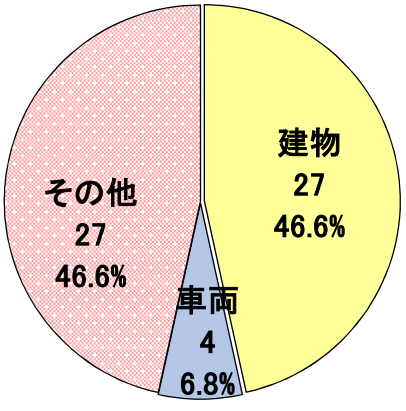
令和７年文化財防火デー火災防御演習

火災の発生状況

区分＼年別	令和6年	令和5年	増 減 数
火 災 件 数 (件)	58	56	2
建 物 (件)	27	31	△ 4
林 野 (件)			
車 両 (件)	4	6	△ 2
船 舶 (件)			
航 空 機 (件)			
そ の 他 (件)	27	19	8
建物焼損床面積 (㎡)	1,010	2,190	△ 1,180
建物焼損表面積 (㎡)	52	16	36
林野焼損面積 (a)			
車両等焼損台数 (台)	8	12	△ 4
損 害 額 (千円)	138,263	190,551	△ 52,288
焼 損 棟 数 (棟)	37	46	△ 9
り災世帯数 (世帯)	28	19	9
り 災 人 員 (人)	59	39	20
死 者 (人)	2	3	△ 1
65歳以上の死者 (人)			
負 傷 者 (人)	4	4	
30 日 死 者 (人)			
出 火 率 (%)	3.1	2.9	0.2

※　火災に直接起因して４８時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも４８時間を超え３０日以内に亡くなった者を「３０日死者」として取り扱っています。

令和6年 火災発生件数



月別火災発生状況

令和６年中

区　分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数		12	5	7	3	3	6	3	11	1	3		4	58
	建　物	7	1	5	2	2	1	1	4	1	1		2	27
	林　野													
	車　両					1	2				1			4
	船　舶													
	航空機													
	その他	5	4	2	1		3	2	7		1		2	27
焼損棟数		8	1	5	5	3	1	3	4	3	1		3	37
	全　焼	1		1	3			1		1				7
	半　焼	2	1							1				4
	部分焼	1		2	1	2		2	2	1			2	13
	ぼ　や	4		2	1	1	1		2		1		1	13
死傷者		2		1	1						1		1	6
	死　者				1								1	2
	負傷者	2		1							1			4
	（30日死者）													
り災世帯		5		4	4	1	1	2	2	3	1		5	28
	全　損	2		1	3			1		1			1	9
	半　損	1								1				2
	小　損	2		3	1	1	1	1	2	1	1		4	17
り災人員		8		12	6	1	1	6	6	8	5		6	59
建物焼損床面積(㎡)		235	91	88	196			232	5	110			53	1,010
建物焼損表面積(㎡)		3		2	7	7		8	13	2			10	52
林野焼損面積(a)														
車両等焼損台数		1		1	1	1	2	1			1			8
損害額(千円)		23,782	4,510	8,287	34,744	35,166	1,324	14,263	1,406	11,267	428		3,086	138,263
	建物 建築物	10,404	3,992	7,718	17,888	182	2	12,268	478	6,473	400		3,033	62,838
	建物 収容物	1,964	488	481	585	34,811		1,785	928	4,794	10		53	45,899
	林　野													
	車　両	313		46	63	173	1,320	200			18			2,133
	船　舶													
	航空機													
	その他	11,080	30	42	16,208		2	10						27,372
	爆　発	21												21

※　火災に直接起因して４８時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも４８時間を超え３０日以内に亡くなった者を「３０日死者」として取り扱っています。

署別火災発生状況

令和６年中

区　分		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合計	前年合計	増減数
火災件数		9	9	10	15	4	11	58	56	2
	建　物	4	3	6	7	2	5	27	31	△ 4
	林　野									
	車　両	1	1				2	4	6	△ 2
	船　舶									
	航空機									
	その他	4	5	4	8	2	4	27	19	8
焼損棟数		6	3	6	8	4	10	37	46	△ 9
	全　焼	2				1	4	7	21	△ 14
	半　焼	1		1		1	1	4	3	1
	部分焼	2		2	3	2	4	13	12	1
	ぼ　や	1	3	3	5		1	13	10	3
死傷者			1	1	2		2	6	7	△ 1
	死　者				1		1	2	3	△ 1
	負傷者		1	1	1		1	4	4	
	（30日死者）									
り災世帯		5	1	4	8	4	6	28	19	9
	全　損	3			1	1	4	9	7	2
	半　損			1		1		2	1	1
	小　損	2	1	3	7	2	2	17	11	6
り災人員		9	1	15	12	12	10	59	39	20
建物焼損床面積(㎡)		529		32	66	110	273	1,010	2,190	△ 1,180
建物焼損表面積(㎡)		9		8	10	10	15	52	16	36
林野焼損面積(a)										
車両等焼損台数		3	1				4	8	12	△ 4
損害額(千円)		37,531	16,469	6,179	3,928	11,734	62,422	138,263	190,551	△ 52,288
	建物 建築物	21,858	44	5,069	3,573	6,936	25,358	62,838	170,764	△ 107,926
	建物 収容物	4,052	17	1,068	355	4,798	35,609	45,899	14,235	31,664
	林　野									
	車　両	531	173				1,429	2,133	4,078	△ 1,945
	船　舶									
	航空機									
	その他	11,090	16,214	42			26	27,372	1,474	25,898
	爆　発		21					21		21

※　火災に直接起因して４８時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも４８時間を超え３０日以内に亡くなった者を「３０日死者」として取り扱っています。

月別、分団別火災発生件数

令和６年中

月別 / 分団別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
石原			1			2							3
荒川			2					1					3
上石													
中央								1					1
筑波								4				1	5
肥塚													
成田	1											1	2
佐谷田													
久下												1	1
大幡		1			1		1			2			5
大麻生							1						1
玉井					1			1					2
中条	2												2
奈良		1											1
別府		1				1							2
三尻	2			2		1							5
吉岡													
太井													
星宮													
妻沼						1							1
弥藤吾	3												3
男沼													
小島													
太田		1	1		1	1							4
長井				1									1
秦		1					1						2
大里中央													
大里北													
大里南	1							2	1				4
江南中央	1		2					2				1	6
江南北	2									1			3
江南南			1										1
合計	12	5	7	3	3	6	3	11	1	3		4	58

月別、時刻別火災発生件数

令和６年中

月別 / 時刻別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
０～ １													
１～ ２													
２～ ３			1					1				1	3
３～ ４	1		1	1									3
４～ ５	1												1
５～ ６			1										1
６～ ７		1			1	1	1						4
７～ ８	1		1		1		1	1					5
８～ ９	1	1						1					3
９～１０			1	1									2
１０～１１	2					1	1			1			5
１１～１２		2	1									1	4
１２～１３	1	1						1					3
１３～１４	1							1		1			3
１４～１５	2					1							3
１５～１６						1			1			1	3
１６～１７						1							1
１７～１８			1					2					3
１８～１９								1					1
１９～２０						1		1					2
２０～２１										1			1
２１～２２	1							1					2
２２～２３				1	1								2
２３～２４	1												1
不　　明								1				1	2
合　　計	12	5	7	3	3	6	3	11	1	3		4	58

損害額及び焼損面積区分による火災発生件数

令和６年中

損害額区分		件数	焼損床面積区分		件数
	１万円未満	28		３．３㎡未満	17
１万円以上	５０万円未満	17	３．３㎡以上	５０㎡未満	3
５０万円以上	１００万円未満	2	５０㎡以上	１００㎡未満	3
１００万円以上	２００万円未満	1	１００㎡以上	２００㎡未満	2
２００万円以上	３００万円未満		２００㎡以上	３００㎡未満	2
３００万円以上	４００万円未満	1	３００㎡以上	４００㎡未満	
４００万円以上	５００万円未満	2	４００㎡以上	５００㎡未満	
５００万円以上	６００万円未満		５００㎡以上	６００㎡未満	
６００万円以上	７００万円未満		６００㎡以上	７００㎡未満	
７００万円以上	８００万円未満	1	７００㎡以上	８００㎡未満	
８００万円以上	９００万円未満		８００㎡以上	９００㎡未満	
９００万円以上	１，０００万円未満		９００㎡以上	１，０００㎡未満	
１，０００万円以上	１，５００万円未満	2	１，０００㎡以上		
１，５００万円以上		4	（車両、その他）		31
合計		58	合計		58

出火原因別火災発生件数

区分＼年別	令和6年	令和5年	増 減 数
たばこ	5	3	2
こんろ	3	1	2
かまど	1		1
風呂かまど			
炉			
焼却炉		2	△ 2
ストーブ	1		1
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道			
排気管	2	1	1
電気機器		3	△ 3
電気装置	1	1	
電灯・電話等の配線	2	1	1
内燃機関	1		1
配線器具	3	1	2
火遊び		1	△ 1
マッチ・ライター			
焚き火	2	8	△ 6
溶接機・溶断機	1		1
灯火			
衝突の火花			
取灰			
火入れ	4	2	2
放火	8	4	4
放火の疑い	3	4	△ 1
その他	13	14	△ 1
不明・調査中	8	10	△ 2
合計	58	56	2

※　出火原因区分は、火災報告取扱要領国表０３表による。

曜日別火災発生件数

令和６年中

種別 / 曜日別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合　計
日　曜　日	3		1				4
月　曜　日	6					2	8
火　曜　日	1					5	6
水　曜　日	7		2			8	17
木　曜　日	1					4	5
金　曜　日	7					1	8
土　曜　日	2		1			7	10
不　　明							
合　　計	27		4			27	58

時刻別火災発生件数

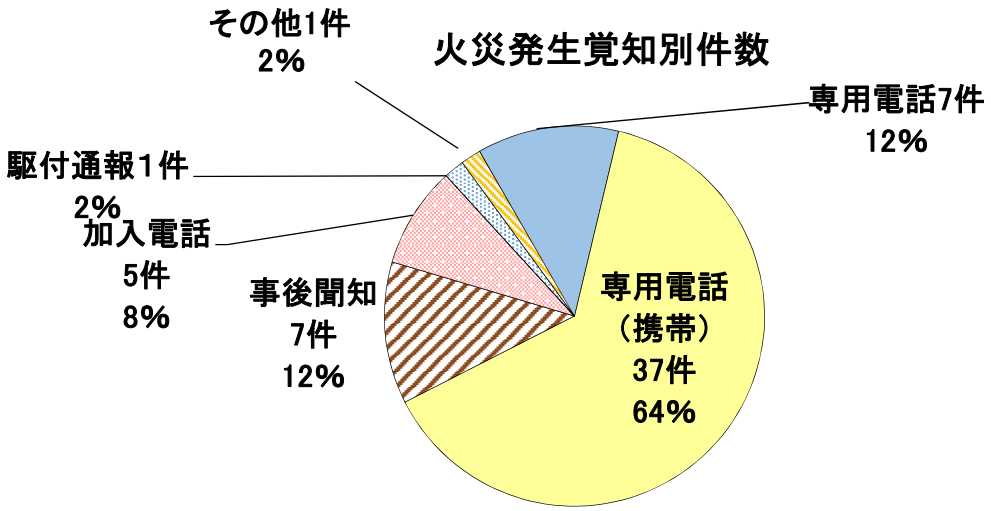
令和６年中

種別 / 時刻別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合　計
0 ～　1							
1 ～　2							
2 ～　3	3						3
3 ～　4	3						3
4 ～　5	1						1
5 ～　6						1	1
6 ～　7	2					2	4
7 ～　8	4		1				5
8 ～　9	2					1	3
9 ～ 10						2	2
10 ～ 11	1		1			3	5
11 ～ 12	1					3	4
12 ～ 13	2					1	3
13 ～ 14	1					2	3
14 ～ 15						3	3
15 ～ 16	2					1	3
16 ～ 17			1				1
17 ～ 18	1					2	3
18 ～ 19						1	1
19 ～ 20			1			1	2
20 ～ 21	1						1
21 ～ 22	1					1	2
22 ～ 23	2						2
23 ～ 24						1	1
不　　明						2	2
合　　計	27		4			27	58

火災発生覚知別件数

令和６年中

区分 / 月別	専用電話	専用電話（携帯）	事後聞知	加入電話	警察電話	駆付通報	その他	合　計
1月	1	9	1				1	12
2月	2	3						5
3月		6	1					7
4月		2		1				3
5月		2		1				3
6月		3	1	1		1		6
7月	1	2						3
8月	2	6	3					11
9月		1						1
10月		1	1	1				3
11月								
12月	1	2		1				4
合　計	7件	37件	7件	5件		1件	1件	58件



主なる火災（損害額1,000万円以上の火災）

令和６年中

月　日	地　　区	用　途	焼損床・表面積(㎡)	損害額(千円)
１月１７日	熊谷市今井地内	倉庫	床206㎡	18,756千円
４月２日	熊谷市田島地内	住宅	床196㎡	18,536千円
４月８日	熊谷市三ヶ尻地内			16,208千円
５月１３日	熊谷市原井地内	工場	表6㎡	34,981千円
７月２６日	熊谷市代地内	住宅	床232㎡	14,253千円
９月２５日	熊谷市箕輪地内	住宅	床110㎡	11,267千円

死者を伴った火災

令和６年中

月　日	入電時間	地　　区	火災種別	死者数(死者・30日死者)
４月２日	３時２１分	熊谷市田島地内	建物火災	死者１名
１２月１１日	１５時４８分	熊谷市上之地内	建物火災	死者１名

※　火災に直接起因して４８時間以内に亡くなった者を「死者」、負傷者のうちでも４８時間を超え３０日以内に亡くなった者を「３０日死者」として取り扱っています。

救　急　・　救　助



令和6年秋季消防総合演習

事 故 種 別 出 動 状 況

令和６年中

種別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年合計	増減数
出動件数		1,083	874	970	875	919	870	1,132	1,033	915	963	951	1,175	11,760	11,190	570
救急事故種別件数	火災	6	2	4	3	5	2	3	5	1	1		2	34	48	△ 14
	自然															
	水難				1				1	1				3	6	△ 3
	交通	57	44	56	62	61	49	61	65	51	62	74	63	705	714	△ 9
	労災	6	7	5	14	9	14	23	14	14	10	9	9	134	127	7
	運動	5	8	12	7	16	13	11	5	12	7	8	7	111	131	△ 20
	一般	124	117	130	118	115	131	141	133	131	133	147	147	1,567	1,370	197
	加害	4	5	7	2	3	6	3	3	5	3	5	4	50	65	△ 15
	自損	10	11	6	10	17	7	14	9	9	11	8	14	126	110	16
	急病	774	595	641	562	619	567	775	692	601	631	594	801	7,852	7,481	371
	その他	97	85	109	96	74	81	101	106	90	105	106	128	1,178	1,138	40
傷病者搬送件数		900	715	820	754	778	735	969	881	779	837	806	982	9,956	9,169	787
不搬送件数		183	159	150	121	141	135	163	152	136	126	145	193	1,804	2,021	△ 217
医師器材搬送件数																
搬送人員	男	480	377	437	377	415	380	515	494	441	446	408	540	5,310	4,840	470
	女	431	339	389	381	366	359	461	396	340	395	402	447	4,706	4,395	311
	計	911	716	826	758	781	739	976	890	781	841	810	987	10,016	9,235	781

事 故 種 別 署 別 出 動 状 況

令和６年中

種別＼署別		警防課	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合計
出動件数		480	1,868	1,853	1,069	4,217	952	1,321	11,760
救急事故種別件数	火災	1	1	9	4	8	3	8	34
	自然								
	水難		1					2	3
	交通	36	125	120	53	239	46	86	705
	労災	16	17	24	18	29	14	16	134
	運動	5	19	13	16	38	5	15	111
	一般	72	256	256	139	574	104	166	1,567
	加害		12	4	1	28	1	4	50
	自損	4	14	22	11	51	14	10	126
	急病	307	1,287	1,281	699	2,643	669	966	7,852
	その他	39	136	124	128	607	96	48	1,178
傷病者搬送件数		448	1,618	1,534	918	3,478	814	1,146	9,956
不搬送件数		32	250	319	151	739	138	175	1,804
医師器材搬送件数									
搬送人員	男	233	878	825	491	1,815	436	632	5,310
	女	216	758	720	431	1,675	381	525	4,706
	計	449	1,636	1,545	922	3,490	817	1,157	10,016

事 故 種 別 時 刻 別 搬 送 人 員

令和６年中

時刻別 / 事故種別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
火　災					1	1			1		1		4
自　然													
水　難											1		1
交　通	16	14	12	67	81	74	67	81	76	70	52	26	636
労　災			2	5	20	34	23	21	14	7	5	2	133
運　動				1	12	39	19	22	6	2	6		107
一　般	37	29	33	92	184	185	141	172	184	140	111	61	1,369
加　害	3	3	4	1	1	1	1	2	1		10	5	32
自　損	4	2	2	8	7	7	7	12	9	7	9	7	81
急　病	294	253	343	495	878	827	701	673	647	657	544	395	6,707
その他	16	7	7	10	96	204	226	155	130	53	25	17	946
合　計	370	308	403	679	1,280	1,372	1,185	1,138	1,068	936	764	513	10,016

事故種別傷病程度別搬送人員

令和６年中

傷病程度別 / 事故種別	死　亡	重　症	中等症	軽　症	その他	合　計
火　災				4		4
自　然						
水　難	1					1
交　通	3	20	108	505		636
労　災		13	37	83		133
運　動		1	16	90		107
一　般	12	71	430	856		1,369
加　害			4	28		32
自　損	9	10	34	28		81
急　病	158	565	2,857	3,127		6,707
その他	2	213	674	57		946
合　計	185	893	4,160	4,778		10,016

救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況

令和６年中

区分 / 種別		救急告示医療機関	その他の医療機関	合　計	前年合計	増減数
男女別	男	4,844	466	5,310	4,840	470
	女	4,422	284	4,706	4,395	311
	計	9,266	750	10,016	9,235	781
事故種別	急　病	6,197	510	6,707	6,208	499
	交　通	632	4	636	615	21
	一般負傷	1,350	19	1,369	1,164	205
	そ の 他	1,087	217	1,304	1,248	56
	計	9,266	750	10,016	9,235	781
傷病程度別	死　亡	168	17	185	190	△ 5
	重　症	749	144	893	901	△ 8
	中等症	3,692	468	4,160	3,748	412
	軽　症	4,657	121	4,778	4,396	382
	そ の 他					
	計	9,266	750	10,016	9,235	781

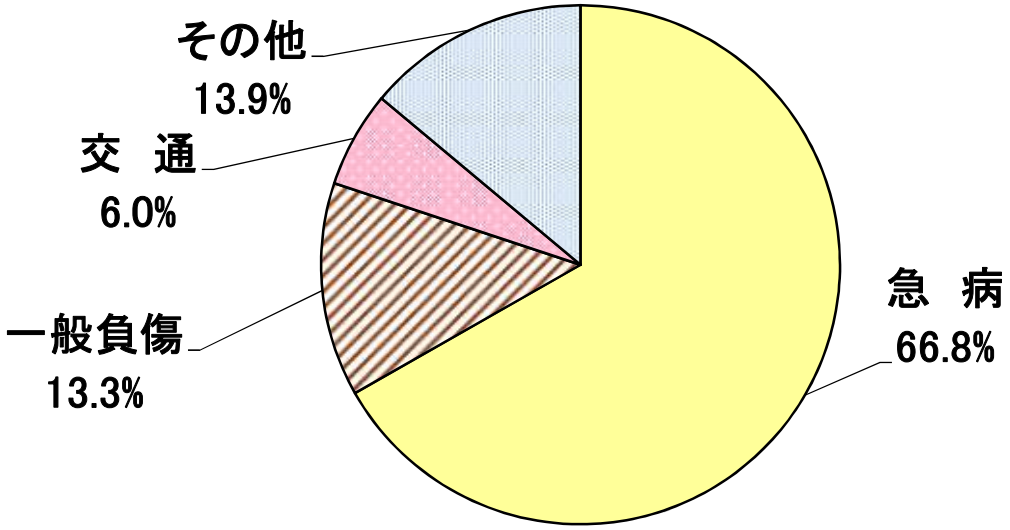
救急告示医療機関　（熊谷市）		
名　称	認定日	告　示
熊谷外科病院	R6.2.28	R6.3.1告示第166号
埼玉慈恵病院	R4.12.17	R4.12.20告示第1342号
熊谷総合病院	R7.3.11	R7.3.11告示第148号
関東脳神経外科病院	R4.12.17	R4.12.20告示第1342号
熊谷生協病院	R4.9.3	R4.9.6告示第907号

傷病程度　（救急事故等報告要領に基づく）	
死　亡	初診時において、死亡が確認されたもの
重　症	傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
軽　症	傷病の程度が入院加療を必要としないもの
そ の 他	医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別出動件数

令和６年中

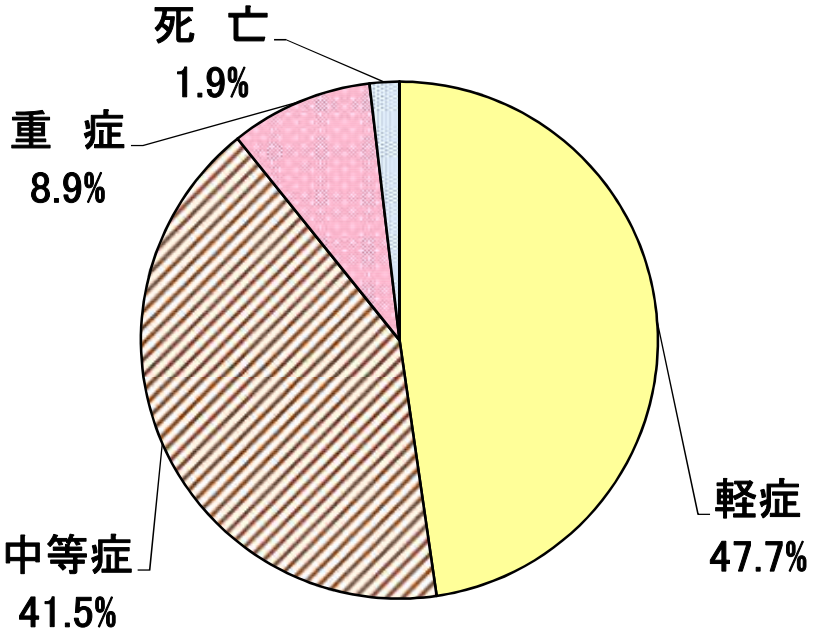
	急　病	一般負傷	交　通	その他	合　計
出動件数	7,852	1,567	705	1,636	11,760



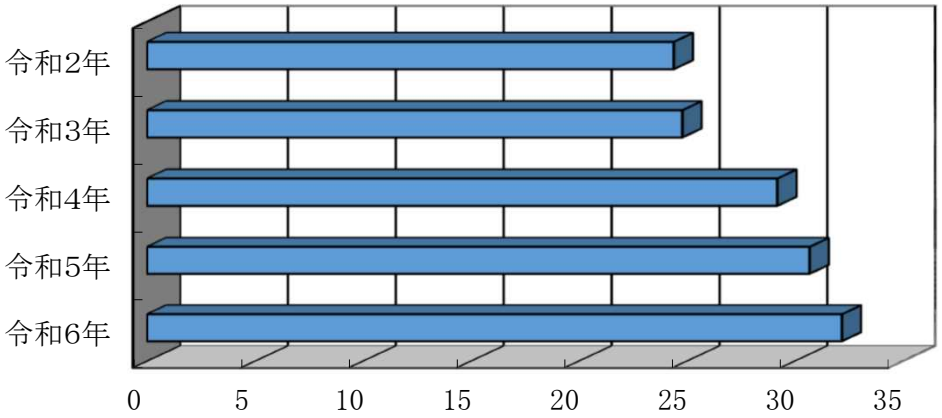
程度別搬送人員

令和６年中

	軽　症	中等症	重　症	死　亡	その他	合　計
搬送人員	4,778	4,160	893	185	0	10,016



一日平均救急出動件数の年別比較



	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
出動件数	24.4	24.8	29.2	30.7	32.2

年齢別搬送人員

年齢別 / 年別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	生後28日未満	生後28日以上満7歳未満	満7歳以上満18歳未満	満18歳以上満65歳未満	満65歳以上	
令和4年	33	334	344	2,474	5,454	8,639
令和5年	35	419	387	2,639	5,755	9,235
令和6年	30	413	386	2,816	6,371	10,016

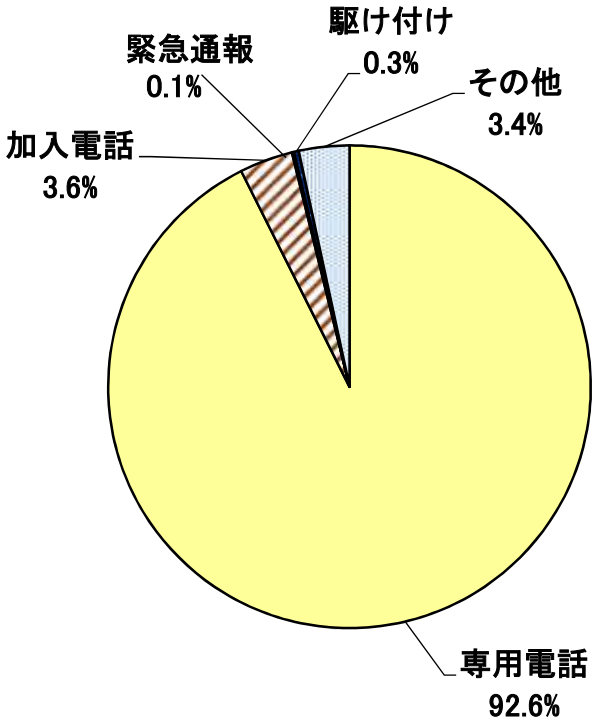
救急隊員の行った応急処置件数

	令和4年	令和5年	令和6年
止血	162	168	163
固定	455	389	502
心肺蘇生	194	216	238
酸素吸入	1,567	1,528	1,582
気道確保	293	321	349
保温	2,507	2,269	1,954
被覆	449	459	512
血圧測定	8,084	8,664	9,500
心音呼吸音の聴取	2,850	2,785	3,053
血中酸素飽和度の測定	8,337	8,981	9,788
心電図	5,532	5,833	6,785
その他	7,556	7,872	8,913

救急事故覚知別状況

令和６年中

覚知別	専用電話	加入電話	緊急通報	駆け付け	その他	合　計
件　数	10,889	421	14	39	397	11,760



医療資器材の使用件数

	血　圧　計	パルスオキシメーター	心　電　計
令和4年	8,022	8,234	5,336
令和5年	8,575	8,846	5,668
令和6年	9,281	9,528	6,402

救 助 出 動 状 況

	令和6年			令和5年			出動件数増　減
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
総　数	235	137	78	217	134	78	18
火　災	24	24		41	41	4	△ 17
交通事故	34	18	20	36	14	13	△ 2
水難事故	2	2	1	5	4	4	△ 3
風水害等自然災害							
機械による事故	2	1	1	2	2	2	
建物等による事故	75	59	42	67	53	45	8
ガス及び酸欠事故	5	3	4	3	3	3	2
爆発事故							
その他の事故	93	30	10	63	17	7	30

※　出動件数とは、救助隊が救助を目的として出動した件数をいう。
　　活動件数とは、救助隊が要救助者を救出するために活動した件数をいう。
　　救助人員とは、救助隊により救出された人員をいう。

月別救助出動件数

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	出　動	5	1	4	2	3	2	2	3	1			1	24
	活　動	5	1	4	2	3	2	2	3	1			1	24
	救助人員													
交通	出　動	2	3	3	7	1	1	2	4	1	4	3	3	34
	活　動	1	2	1	2			1	1	1	4	2	3	18
	救助人員	1	2	1	2			1	1	3	4	2	3	20
水難	出　動				1				1					2
	活　動				1				1					2
	救助人員								1					1
自然災害	出　動													
	活　動													
	救助人員													
機械	出　動					1				1				2
	活　動					1								1
	救助人員					1								1
建物	出　動	7	7	9	4	4	10	7	7	8	7	2	3	75
	活　動	7	6	5	4	4	7	5	5	7	5	2	2	59
	救助人員	4	6	5	3	4	4	4	4	5	2	1		42
ガス	出　動				1	1	1					1	1	5
	活　動					1	1						1	3
	救助人員					1	1						2	4
爆発	出　動													
	活　動													
	救助人員													
その他	出　動	8	9	11	6	9	8	7	9	7	7	7	5	93
	活　動	3	3	1	1	4	2	1	3	5	2	3	2	30
	救助人員	2		1	1	3				1	1		1	10
合計	出　動	22	20	27	21	19	22	18	24	18	18	13	13	235
	活　動	16	12	11	10	13	12	9	13	14	11	7	9	137
	救助人員	7	8	7	6	9	5	5	6	9	7	3	6	78

事故種別発生場所別活動件数

発生場所別＼事故種別			火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
			建物	建物以外									
屋内	住居		14						56	1		23	94
屋内	その他の屋内		5					1	1			1	8
屋外	道路	高速自動車・国道											
屋外	道路	その他の道路		1	15							1	17
屋外	水面	内水面				2							2
屋外	水面	外水面											
屋外	山岳												
屋外	その他の屋外		1	3	3				2	2		5	16
地下													
その他													
合計			20	4	18	2		1	59	3		30	137

※ 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

事故種別出動車両等台数

車両別＼事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外									
出動車両	救助工作車	20	4	35	2		2	75	5		92	235
出動車両	消防ポンプ自動車	86	12	33	3		1	42	4		95	276
出動車両	はしご車	4	2					1			16	23
出動車両	化学車	2										2
出動車両	指揮車	20	4	4	1			1	2		18	50
出動車両	救急自動車	20	4	42	2		2	75	6		93	244
出動車両	その他	2			2						1	5
出動車両	消防団車両	117	34		1						6	158
合計		271	60	114	11		5	194	17		321	993

※ 事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両の台数について記載。

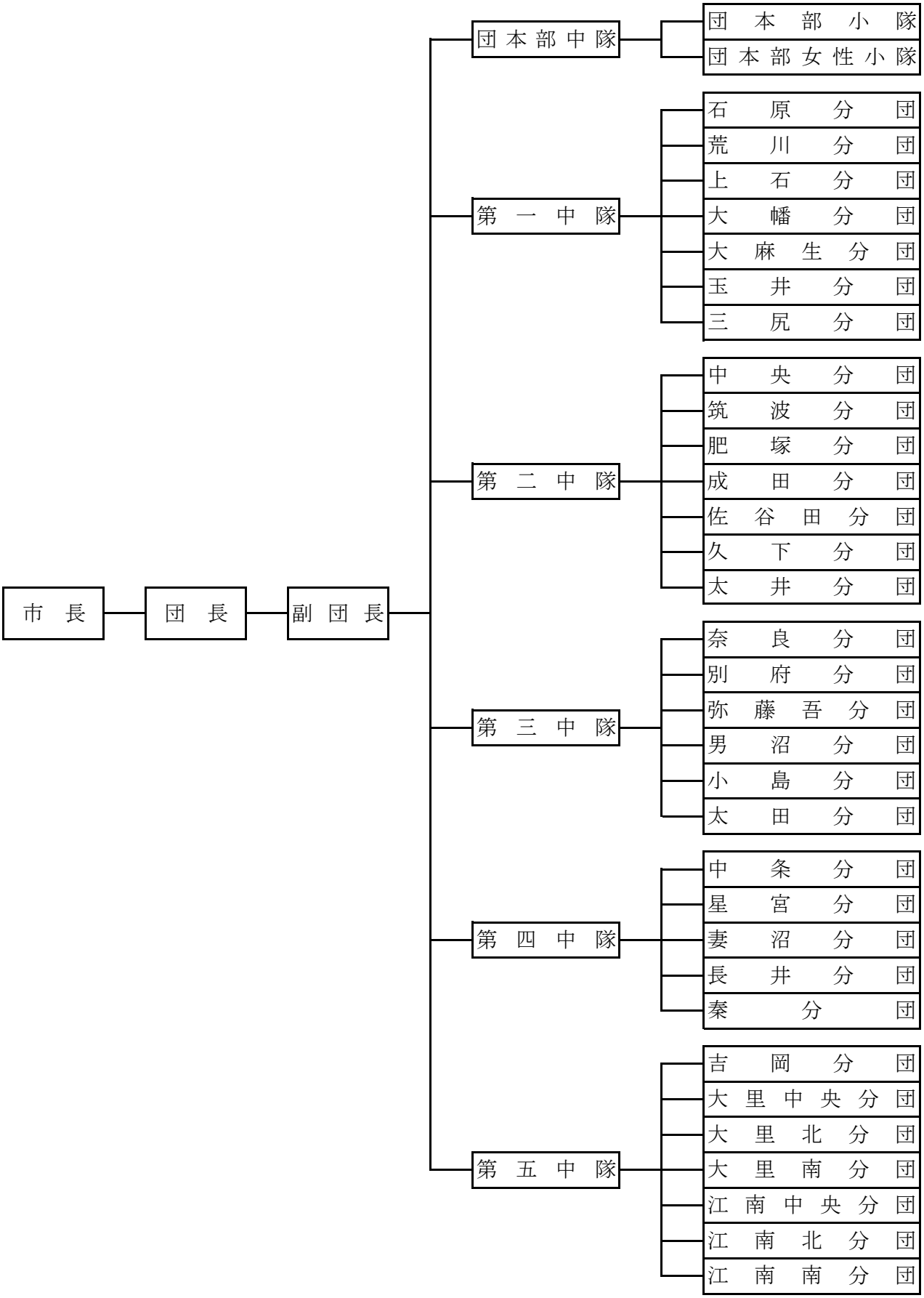
「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

消　　防　　団



令和6年5月に竣工した団本部小隊・中央分団車庫

消　防　団　組　織　表


市　長
団　長
副 団 長
団 本 部 中 隊
団　本　部　小　隊
団 本 部 女 性 小 隊
第　一　中　隊
石　原　分　団
荒　川　分　団
上　石　分　団
大　幡　分　団
大 麻 生 分 団
玉　井　分　団
三　尻　分　団
第　二　中　隊
中　央　分　団
筑　波　分　団
肥　塚　分　団
成　田　分　団
佐 谷 田 分 団
久　下　分　団
太　井　分　団
第　三　中　隊
奈　良　分　団
別　府　分　団
弥 藤 吾 分 団
男　沼　分　団
小　島　分　団
太　田　分　団
第　四　中　隊
中　条　分　団
星　宮　分　団
妻　沼　分　団
長　井　分　団
秦　分　団
第　五　中　隊
吉　岡　分　団
大 里 中 央 分 団
大　里　北　分　団
大　里　南　分　団
江 南 中 央 分 団
江　南　北　分　団
江　南　南　分　団

消 防 団 車 庫 一 覧 表

令和７年４月１日現在

分　団　名	所 在 地	構 造 等	延面積(㎡)	建築年月
団本部小隊 中央分団	宮町一丁目121番地	鉄骨造二階建	144.0	R6.5
石原分団	本石二丁目53番地	鉄骨造二階建	142.71	S48.12
荒川分団	宮前町一丁目106番地	鉄骨造平屋建	88.29	H30.2
上石分団	石原932番地	鉄筋コンクリート造二階建	75.19	S53.7
筑波分団	筑波一丁目69番地1	鉄筋コンクリート造二階建	244.49	S54.10
肥塚分団	肥塚一丁目2番15号	鉄筋コンクリート造平家建	74.39	S60.3
成田分団	上之806番地10	鉄筋コンクリート造平家建	87.99	S50.3
佐谷田分団	佐谷田371番地17	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
久下分団	久下1430番地	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S49.3
大幡分団	代585番地1	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S48.3
大麻生分団	大麻生1108番地6	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S42.2
玉井分団	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	玉井分署内	H3.3
中条分団	上中条814番地2	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
奈良分団	下奈良561番地15	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S57.3
別府分団	西別府2047番地	鉄筋コンクリート造平家建	70.64	S52.3
三尻分団	三ケ尻2750番地2	鉄筋コンクリート造平家建	72.33	S54.8
吉岡分団	万吉2164番地	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	H4.2
太井分団	太井1949番地1	鉄筋コンクリート造平家建	179.43	S55.3
星宮分団	下川上17番地2	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S45.3

分　団　名	所 在 地	構 造 等	延面積(㎡)	建築年月
妻 沼 分 団	妻沼1547番地3	鉄骨造平家建	87.19	H10.2
弥藤吾分団	弥藤吾1800番地3	鉄骨造平家建	72.90	H3.3
男 沼 分 団	男沼118番地1	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
小 島 分 団	妻沼小島2357番地1	鉄筋コンクリート造平家建	58.32	S62.3
太 田 分 団	飯塚1395番地15	鉄骨造平家建	72.90	H1.3
長 井 分 団	江波363番地	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
秦　分　団	葛和田1135番地3	鉄骨造平家建	72.90	H2.11
大里中央分団	中曽根643番地1	木造平家建	23.10	S63.3
大里北分団	中曽根232番地1	鉄骨造平家建	56.70	H9.3
大里南分団	相上1654番地7	鉄骨造平家建	56.70	H5.3
江南中央分団	江南中央一丁目1番地	鉄骨造平家建	61.20	H19.2
江南北分団	成沢465番地1	鉄骨造平家建	46.45	S61.3
江南南分団	小江川1931番地1	鉄骨造平家建	54.78	H2.3

消防ポンプ自動車等性能一覧表

令和７年４月１日現在

分　団　別	車　　種	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備　　考
団本部小隊	多機能車	イスズ BKG-NHS85A	㈱モリタ	H21	16	2,990	―	無線傍受機、小型動力ポンプ
団本部女性小隊	広報車	ミツビシ DBA-CV5W	東日本三菱自動車販売㈱	R1	6	2,350	―	無線傍受機
石原分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2DG-XZU640M	㈱モリタ	R6	1	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
荒川分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱ネイチャー	R1	6	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
上石分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R2	5	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
中央分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ TKG-XZU640M	㈱モリタ	H25	12	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
筑波分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	㈱モリタ	H21	16	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
肥塚分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	㈱モリタ	H20	17	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
成田分団	普通消防ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池株式会社	H19	18	2,990	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
佐谷田分団	普通消防ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池株式会社	H19	18	2,990	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
久下分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ TKG-XZU640M	㈱モリタ	H24	13	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
大幡分団	普通消防ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	㈱ナカムラ消防化学	H22	15	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
大麻生分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ SKG-XZU640M	㈱モリタ	H23	14	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
玉井分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ SKG-XZU640M	㈱モリタ	H23	14	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
中条分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ SKG-XZU640M	㈱モリタ	H23	14	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
奈良分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R5	2	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
別府分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R5	2	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機

分　団　別	車　　種	車名・型式	艤装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備　　考
三尻分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R4	3	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
吉岡分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2DG-XZU640M	㈱モリタ	R6	1	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
太井分団	普通消防ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	㈱ナカムラ消防化学	H22	15	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
星宮分団	普通消防ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	㈱ナカムラ消防化学	H22	15	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
妻沼分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2DG-XZU640M	㈱モリタ	R6	1	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
弥藤吾分団	普通消防ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池株式会社	H19	18	2,990	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
男沼分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R4	3	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
小島分団	普通消防ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池株式会社	H19	18	2,990	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
太田分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R2	5	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
長井分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱ネイチャー	R1	6	4000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
秦分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R4	3	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
大里中央分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	㈱モリタ	H21	16	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
大里北分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱モリタ	R5	2	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
大里南分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	㈱モリタ	H21	16	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
江南中央分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ TKG-XZU640M	㈱モリタ	H25	12	4,000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
江南北分団	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2RG-XZU640M	㈱ネイチャー	R1	6	4000	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機
江南南分団	普通消防ポンプ自動車	イスズ PB-NKR81N	小池株式会社	H17	20	4,770	A-2級	CD-Ⅰ型、無線傍受機

勤　続　年　数　状　況

令和７年４月１日現在

階級別 / 勤続年数別	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
５　年　未　満						124	124
５年以上～１０年未満				3	15	75	93
１０年以上～１５年未満			4	3	20	47	74
１５年以上～２０年未満			7	8	20	35	70
２０年以上～２５年未満		1	5	7	14	14	41
２５年以上～３０年未満			9	9	5	11	34
３０年以上～３５年未満	1	1	3	4	6	4	19
３　５　年　以　上		4	6			2	12
人　員　計	1	6	34	34	80	312	467
平均勤続年数	32	35	25	21	17	9	12

年　齢　状　況

令和７年４月１日現在

階級別 / 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
２　５　歳　未　満						8	8
２５歳以上～３０歳未満					1	19	20
３０歳以上～３５歳未満				1		24	25
３５歳以上～４０歳未満			1	1	2	25	29
４０歳以上～４５歳未満				5	13	60	78
４５歳以上～５０歳未満			5	4	15	69	93
５０歳以上～５５歳未満			9	10	23	60	102
５５歳以上～６０歳未満		1	4	9	19	26	59
６０歳以上～６５未満		2	11	2	3	9	27
６　５　歳　以　上	1	3	4	2	4	12	26
人　員　計	1	6	34	34	80	312	467
平　均　年　齢	68	65	57	52	51	45	47